

年報

平成2年度版

日本民俗資料館
松本市立博物館

はじめに

日本民俗資料館の前身は遠く明治39年（1906）に開館した明治三十七、八年戦役記念館にさかのぼります。のち、松本記念館、松本市立博物館となり、昭和27年には長野県下初の博物館法による登録を受け、同41年に組織を財団法人に改め、同43年には日本民俗資料館として開館しました。更に昭和58年には松本市教育文化振興財団の管理運営となり今日に至っています。この間、館の名称に幾多の変遷はありましたが、地域社会に根を深く張ろうとする活動方針に何ら変わりはありません。

平成元年度は、昭和をしめくくる最後の年にふさわしい活動を行った年となりました。常設展示は開館以来大規模な展示替えを行ってはいませんが、「松本城コーナー」「古時計の世界」を中心に充実した展示に努めました。特別展は「第29回伝統工芸新作展」「子どもたちの世界—遊びと玩具の今昔展」「香月泰男シベリア・シリーズ展」を開催し、それぞれ好評を博しました。とりわけ「子どもたちの世界—遊びと玩具の今昔展」は長野県博物館協議会の巡回展にふさわしいものとなりました。企画展は収蔵資料を中心に展示紹介を行い「収蔵日本画展—鶯湖・鼎湖・柏亭—」など7回にわたって開催しました。また、館ニュース「あなたと博物館」、調査報告書「松本の三九郎」、「研究紀要」を発刊して調査研究成果を公表し、あるいは講演会等を開催して、広くみなさまがたに学習の場を提供してきました。これもひとえに明治以来連絡と続く博物館活動に対してのみなさまがたのご支援の賜と深く感謝しているしだいです。

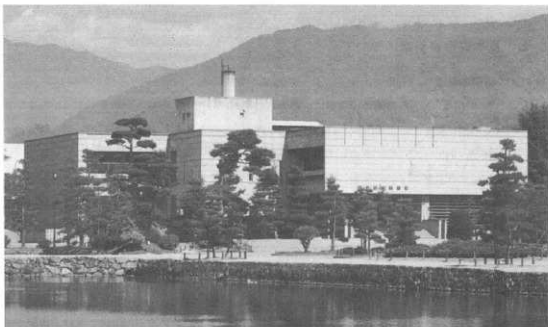
博物館の活動には学芸と庶務・管理があり、両者はともに博物館を支える両輪といえます。この小冊子では上に述べたような平成元年度の学芸活動—①資料の収集 ②それらの整理・保存 ③資料や館活動に必要な調査研究 ④展示を中心とした普及の4本柱を中心に報告したいと思います。当館がこれらの学芸活動を中心とした諸活動を充実させていくためにも、みなさまがたのよりいっそうのご支援とご教示をお願い申し上げます。

1990年3月

館長 牟禮 弘

目 次

はじめに	
I 館の歩み	1
II 事業概要	5
III 組織	10
IV 施設・設備の概要	14
V 平成元年度事業報告	17
1. 学芸活動	17
(1) 資料収集活動	17
(2) 資料整理保存活動	46
(3) 調査研究活動	46
(4) 教育普及活動	48
2. 入館者の利用状況	59
3. 決算の概況	60
4. 職 員	61
5. 日 誌 抄	62
VI 利用案内	66



▲館全景

I 館の歩み

1. 沿革

- | | |
|-------------|---|
| 明治39年9月21日 | 松本尋常高等小学校男子部（旧開智学校）内に明治三十七、八年戦役記念館として創設。のち松本記念館と呼称した。当時の資料は風俗315点、博物2,102点、その他1,381点であった。 |
| 昭和6年6月1日 | 松本市の管理に移る。 |
| 昭和12年 | 松本城二ノ丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実した。 |
| 昭和23年4月1日 | 市内地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史の4部門を常設展示とした。 |
| 昭和27年7月21日 | 博物館法による登録を受けた。同年11月再び松本城二ノ丸に移転した。 |
| 昭和29年4月1日 | 中山村の当市合併に伴い、中山考古館（昭和6年創設）が分館となる。 |
| 昭和30年4月22日 | 七夕人形コレクション45点が文化財保護委員会により重要民俗資料（昭和50年の文化財保護法の改正により重要有形民俗文化財と改称。以下同じ）に指定された。 |
| 昭和32年7月4日 | 分館中山考古館の建物を新築した。 |
| 昭和34年5月6日 | 農耕用具コレクション79点と民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料に指定された。 |
| 昭和34年12月18日 | 孔雀文壺（仏具）1点が重要文化財に指定された。 |
| 昭和36年3月31日 | 重要民俗資料収蔵庫が新築された。 |
| 昭和41年4月1日 | 重要文化財旧開智学校校舎を附属機関とした。 |
| 昭和49年11月1日 | 本田親藏氏から古時計コレクション341点が寄贈され重要民俗資料収蔵庫を時計博物館として公開した。 |
| 昭和55年6月1日 | 古時計コレクションを民俗資料館2階に常設展示とした。 |
| 昭和61年3月31日 | 分館中山考古館を廃止。 |
| 昭和61年4月1日 | 考古博物館を創設。同館を附属機関とした。 |

2 日本民俗資料館について

(1) 建設の動機

松本市は、もと信濃国の中央部に位置する筑摩郡の一部で、山紫水明の立地条件に加え、古代この地に置かれた信濃国府の所在地周辺を中心に発達した。中世からは信濃一国の守護館の所在地、近世一江戸時代を通じて松本藩6万石の城下町、善光寺街道の宿場町として充実、明治初年には筑摩県庁の所在地、やがて今日にみられるような教育文化・商工・観光などいくつかの顔をもつ都市として発展してきた。とりわけ教育は古くから普及し、それは信濃国内でも最も早い時期に設立された松本藩校崇教館と幕末期における著しい寺子屋の普及、明治6年

(1873)の文明開化を象徴する開智学校の開校などに結実・開花しているといえよう。こうしたなかにおいて、松本市立博物館は明治39年(1906)9月21日、明治三十七、八年戦役記念館(のちに松本記念館と呼称される)として創立されて以来50余年の歴史をもつ長野県下随一の総合博物館として、社会教育の進展と郷土文化の振興のため多くの実績をあげ、重要文化財や重要民俗資料(現・重要有形民俗文化財)を含む6万点にも及ぶ民俗資料や考古・歴史資料、山岳資料等は地方色豊かで、その独自性は学界や博物館界から高い評価を受けてきた。しかし、施設は明治44年(1911)と大正8年

(1919)に建てられた木造の学校校舎で、その老朽化や狭隘化はいかんともしがたく、昭和30年代も後半になると新館建設の機運が盛り上がり、同39年(1964)に新館建設が決定した。



▲明治三十七、八年戦役記念館



▲二の丸に移転後の松本記念館



▲在りし日の松本市立博物館
本館(右)と別館(左)

(2) 法人の設立

昭和41年4月1日、現在地に新館を建設するため組織を財団法人に改め、日本民俗資料館として発足した。この日本民俗資料館という名称は「日本でも類い稀な重要な民俗資料を多く収蔵する」という考えから命名されたものであった。松本市立博物館附属機関重要文化財旧開智学校校舎、同分館中山考古館の建物及び資料、さらに



▲重要有形民俗文化財収蔵庫

重要民俗資料収蔵庫の建物を残して、松本市立博物館ならびに別館の建物と資料を日本民俗資料館に移管した。松本市からの出捐財産を集約すると322,493,800円となり、内訳は基本財産321,828,800円（固定資産318,828,800円 - 建物635.83坪・5,038,800円、資料59,950点・310,790,000円、基本金3,000,000円）、運用財産665,000円（流動資産 - 什器備品）等である。

なお、（財）日本民俗資料館の設立目的は以下のとおりである。

1. 日本民俗資料館の建設
1. 重要民俗資料、重要文化財その他貴重資料の保管及び展示
1. 民俗資料およびその他の資料の収集
1. 特別展覧会の開催
1. 定期刊行物の発行
1. その他目的達成のための必要な事項

(3) 建設経過

日本民俗資料館は資料の収集と保存、調査研究、展示を中心とした普及という博物館本来の四つの機能をそなえ、自然・文化・歴史にわたる総合博物館として昭和41・42両年度にわたって建設することになった。日本自転車振興会からの補助も得、総工費2億円、鉄筋コンクリート造り地下1階・地上2階・塔屋付、延床面積3,300㎡、空調・換気設備等の完備した建物で、松本城・中央公園の風致に調和するように建設が進められた一方、建設にあたっては関係官庁・機関・団体・個人等、多くの支援と協力が得られた。着工は昭和41年10月1日、竣工は同42年10月10日、同10月18日に全館竣工、落成式を行った。

(4) 開館行事

竣工後5ヶ月間、未公開のまま建物内部の乾燥、資料の展示を行い、昭和43年4月20日、出



▲開館式で挨拶する降旗理事長（当時）

くまでも資料先行型の博物館であったと位置づけられよう。当時、地方都市にあって延床面積3,300㎡にも及ぶ大規模な総合博物館を建設した例はなく、そこには明治以来連続と続く博物館活動を尊ぶ市民の理解と期待、市当局の並々な熱意があり、またそれが大きな原動力となっていたことがう

かがわかる。そして、この新館建設は昭和44年2月22日付『朝日新聞』の「郷土文化の死蔵と活用」と題する社説にもとりあげられ、大きな話題をよんだ。

開館記念特別展は東京国立博物館等から明治時代の生活に深いかかわりのある絵画・工芸・筆跡等75点を借用・展示した「明治の生活美術展」を明治100年祭行事の一環として4月20日から5月12日まで開催し、一般公開が始められた。なお、名誉館長には岡正雄氏（松本市出身・当時東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長 民族学）、顧問には犬飼哲夫氏（松本市出身・当時北海道大学名誉教授 動物学）有賀喜左衛門氏（当時東京女子大学長 社会学）等が委嘱された。

席者250名を得て開館式を行った。この年、昭和43年は明治100年にあたり、日本の博物館発達史上この記念行事を契機として博物館の建設がピークを迎えた時期であるが、この新館建設はその先端を切ったものといえる。また、これらの多くが建物先行型であとに資料の充実を考える、いわば逆立ちした博物館であったのに対し、日本民俗資料館の場合、あ



▲開館式テープカット



▲開館式当日の展示室

Ⅱ 事業概要

1. 学芸活動

博物館法第2条(定義)ならびに第3条(博物館の事業)により、次の事業を行う。

(1) 資料の収集・整理保管活動

松本市を中心とした周辺地域の文化や歴史、自然を理解していくうえで必要な資料を寄贈、購入、採集等により積極的に収集している。収集した資料は整理分類作業を経たうえで展示または収蔵庫に保管する。

(2) 調査研究活動

展示の準備作業として、また市民等の文化や歴史、自然に関する知識の普及に資するため、専門的・技術的な立場から広く調査研究活動を行う。

(3) 教育普及活動

上記の諸活動のうえにたち展示をはじめとした次の活動を行う。

ア 展 示

(ア) 常設展示

収蔵資料数約91,000点のうち考古、歴史、民俗、自然、美術、古時計の6部門にわたって約2,500点の資料で松本市を中心とした周辺地域の文化や歴史、自然を展示・解説している。各部門の内容はつぎのa～fである。

- a. 考古……先史時代の松本
- b. 歴史……古代・中世の松本 近世の松本(松本城コーナー) 近代の松本
- c. 民俗……人びとの暮らし
- d. 自然……信州の自然
- e. 美術……近代の美術
- f. 古時計…古時計の世界

常設展示資料数一覧

平成2年4月1日現在

展示部門	1次資料	2次資料				合計
		模型	写真	図表	その他	
考 古	421	2	0	5	1	429
歴 史	192	3	8	9	6	218
民 俗	307	1	32	1	5	346
自 然	978	3	13	8	3	1,005
美 術	25	0	1	1	2	29
古 時 計	330	0	74	2	0	406
合 計	2,253	9	128	26	17	2,433

イ) 企画展示

地階展示室の一部を企画展示コーナーとし、常設展示を補う意味で、収蔵資料のうち整理活動の終了した資料を中心にある一定のテーマを設定して年間4～7回開催する。

ロ) 特別展示

主として1階民俗展示室を使用して、収蔵資料はもとより県内外から資料を借用し、地域の再発見につながるものや世界的・日本的な視野にたったものの中からテーマを設定して年間3～4回開催する。

イ 博物館実習生の受入れ・指導

博物館法施行規則第1条第2項により、大学で博物館学講座等を受講する学生を受入れ館務実習を行う。

ウ 刊行物の編集・発行

館ニュース「あなたと博物館」(月刊)をはじめ、収蔵資料図録、特別展示解説図録、館総合案内、展示解説図録、調査報告書、講演会記録集、研究紀要などを編集・発行する。

エ 講演会・体験教室等の開催

特別展示開催期間を中心に関連テーマを設定し講演会・体験教室等を開催する。

オ 資料の特別利用・調査回答

公立博物館をはじめとした他館からの依頼に応じ、収蔵資料貸出等、他館・諸団体等からの調査依頼に対する回答を行う。

カ 館職員の派遣

他機関・諸団体からの依頼に応じ、館職員を講座・学習会に講師・助言者として派遣する。

キ その他

情報機関への情報提供等、教育普及に必要な諸活動を行う。

2. 観覧状況

(1) 昭和59～平成元年度観覧人員

年度	総数	有 料 観 覧 人 員							無 料 観 覧 人 員	1 日 平均
		総 数	個 人			団 体				
			大 人	小 人	計	大 人	小 人	計		
59	718,334	715,562	436,152	63,360	499,512	177,034	39,016	216,050	2,772	2,001
60	705,448	701,583	433,239	63,437	496,676	164,838	40,069	204,907	3,865	1,965
61	746,022	741,844	458,584	71,838	530,422	168,467	42,955	211,422	4,178	2,101
62	750,365	745,007	473,539	73,834	547,373	156,231	41,409	197,634	5,358	2,150
63	900,252	895,326	567,011	82,390	649,401	198,453	47,472	245,925	4,926	2,508
元	958,057	948,852	616,238	83,023	699,261	203,437	46,154	249,591	9,205	2,669

(2) (1)のうち常設展観覧人員

年度	総数	有 料 観 覧 人 員							無 料 観 覧 人 員	1 日 平 均
		総 数	個 人			団 体				
			大 人	小 人	計	大 人	小 人	計		
59	499,676	497,752	300,589	48,222	348,811	118,914	30,027	148,941	1,924	1,759
60	496,623	494,149	302,369	51,772	354,141	114,124	25,884	140,008	2,474	1,767
61	442,848	440,367	251,933	26,365	278,298	125,843	36,226	162,069	2,481	1,569
62	558,301	555,468	345,076	61,489	406,565	111,626	37,277	148,903	2,833	1,966
63	533,217	531,014	314,124	26,897	341,021	150,536	39,458	189,993	2,203	1,864
元	697,319	694,200	438,260	67,944	506,204	147,793	40,203	187,996	3,119	2,348

(3) (1)のうち特別展観覧人員

年度	総数	有 料 観 覧 人 員							無 料 観 覧 人 員	1 日 平 均
		総 数	個 人			団 体				
			大 人	小 人	計	大 人	小 人	計		
59	218,658	217,810	135,563	15,138	150,701	58,120	8,989	67,109	848	2,915
60	208,825	207,434	130,870	11,665	142,535	50,714	14,185	64,899	1,391	2,677
61	303,174	301,477	206,651	45,473	252,124	42,624	6,729	49,353	1,697	4,270
62	192,064	189,539	128,463	12,345	140,808	44,605	4,126	48,731	2,525	2,955
63	367,035	364,312	252,887	55,493	308,380	47,918	8,014	55,932	2,723	5,028
元	260,738	254,652	177,978	15,079	193,057	55,644	5,951	61,595	6,086	4,205

3. 主要収蔵資料

(1) 考古

ポイント（塩尻市北の原遺跡出土） 深針（塩尻市熊久保遺跡出土） 注口土器・弥生式土器（松本市宮瀬本村遺跡出土） 弥生式土器（松本市百瀬遺跡出土） 須恵器（松本市田溝・山田窯跡群出土） 厩庇付甕（松本市放光寺開き松古墳出土） 軒平瓦・軒丸瓦・建築材（松本市大村鹿寺跡出土） 緑釉皿（松本市旧制松本高校跡出土） 護摩炉（塩尻市旧長谷寺跡出土） 経筒（松本市旧海岸寺跡出土） 孔雀文罽（重要文化財・出土地不明）

(2) 歴史

松本城下町模型 松本城天守閣模型 松本城燼瓦 親子札 番所用具 信州筑摩郡・安曇郡 画図 正保年間松本城下町絵図 鷹匠用具・鷹匠伝書 白鹿洞書院掲示 城貢「助教日記」 明治13年6月明治天皇御巡幸松本御通図 氏子札 筑摩県博覧会錦絵 筑摩県一覽表 筑摩県職員録 信飛新聞 分県請願書 軍事郵便 旅順陥落記念の日の丸 飯沼家文書など

(3) 民俗

七夕人形コレクション（45点、重要有形民俗文化財） 農耕用具コレクション（79点、重要有形民俗文化財） 民間信仰資料コレクション（293点、重要有形民俗文化財） 郷土玩具コ

レクション(99点) 松本押絵びな 両替所看板・天秤 姉妹人形 松本手まり みすず細工
山権用具など。

(4) 自然

ライチョウ(特別天然記念物) トキ(特別天然記念物) ニホンカモシカ(特別天然記念物) イヌワシ ヤツガシラ オオイチモンジ クモツマキチョウ ヤマネ オオツノジカ
のつメガネサナエ ケバカズメバチの巣 サケ イワナ カワシンジュガイ 湯俣産球
状方解石 白骨産球状方解石 球状閃緑岩 小滝産翡翠 飛騨福地産デボン紀化石類など

(5) 美術

石井柏亭コレクション(「紅蓮」他25点) 日本画色紙コレクション(横山大観「富士」他
71点) 石井鼎湖「鶴」「農人」他 鈴木鷺湖「鑪爐之図」 西郷孤月「湖辺」「蓬萊山」
他 宮坂勝「松本城」「波切風景」他 荻原礫山「ニューヨーク郊外」 中村善策「焼岳」
オシップ=ザッキン「二人」 チャールズ=ワグマン「武士」 荻原礫山「坑夫」 笹村草
家人「河童像」 城田孝一郎「海の城」「館」 松代焼コレクション(116点)など。

(6) 古時計

本田コレクション(341点) リングダイヤル置時計 金彩色給男女文飾時計 天文水晶振
子両面置時計 アール・ヌーボースタイル置時計など。

(7) 主要コレクション

ア 七夕人形コレクション(45点 昭和30年4月22日重要有形民俗文化財指定)

江戸時代松本地方を中心に七夕の時、優雅なあるいは素朴な人形を軒先に吊るす風習があり中央の文人に注目されていた。江戸時代から現代に至るこれらの七夕人形は概ね4種類一紙びな形式・流しびな形式・人がた形式・着物かけ形式に分類でき、七夕人形のひとつの古い形式を残し、七夕行事の変遷を調査するうえでも重要な位置を占めている。

イ 農耕用具コレクション(79点 昭和34年5月6日重要有形民俗文化財指定)

江戸時代から現代に至るまでの、耕作・調整・収穫・運搬などの用具の系統だったコレクションで、農耕用具の変遷、農耕生活の一端を知るうえで大変貴重である。

ウ 民間信仰資料コレクション(293点 昭和34年5月6日重要有形民俗文化財指定)

古い時代から民衆の間に根ざしている信仰を民間信仰と呼び、このコレクションには木像道祖神、おみきのくち、田の神、山の神などがあり、祭祀関係資料については特に力を入れて収集してある。この地域の民間信仰の様相を示すものとして価値が高い。

エ 本田コレクション(341点 昭和49年11月1日寄贈)

故本田親蔵氏が約70年にわたり収集を続けた古時計とその関連資料のコレクションである。これらは日本をはじめとしたイギリス・フランス・スイス・アメリカ・オランダなどの16世紀から20世紀初期までの、何れも貴重な資料ばかりでかつ動態展示できるように整備されて

いる。

収 蔵 資 料

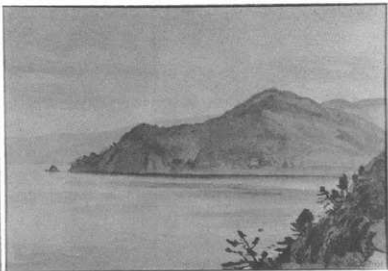
平成2年4月1日現在

種別	総記	考古	歴史	民俗	自然	美術	古時計	文献	合計
点数	2,074	23,413	10,752	31,028	21,430	1,074	342	1,978	92,091

(注) 文献には相互交換文献は含んでいない。



▲ 西郷瓜月筆「蓬萊山」

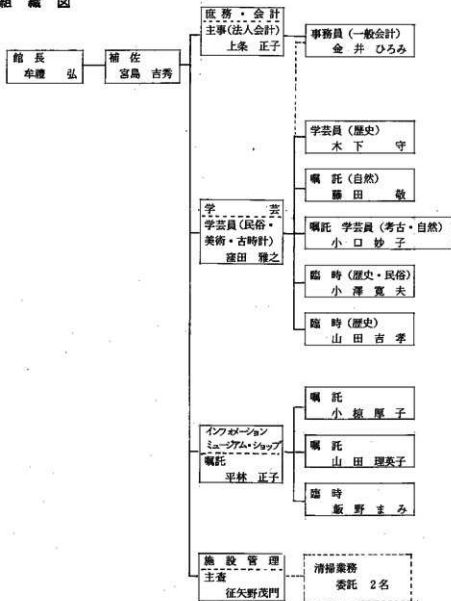


▲ 石井柏亭筆「魚見崎風景」

Ⅲ 組 織

平成2年4月1日現在

1. 組織図

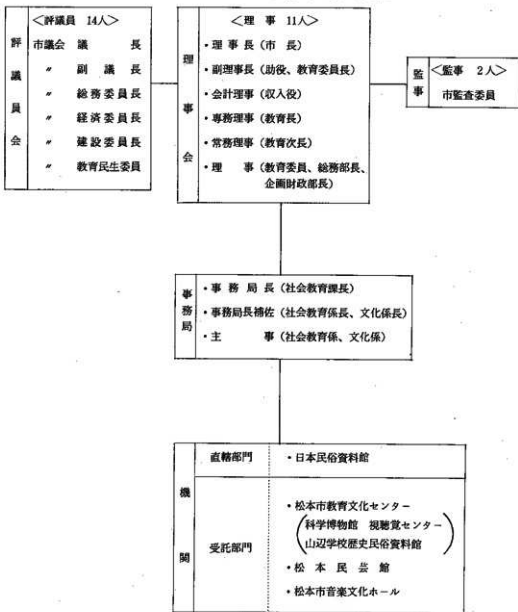


2. 職員数

正規職員		嘱託職員		臨時職員		合計
7人		5人		3人		
事務職員	専門職員	事務職員	専門職員	事務職員	専門職員	
5人	2人	3人	2人	1人	2人	15人

4. 松本市教育文化振興財団組織表

平成元年4月1日現在



Ⅳ 施設・設備の概要

1. 建物の概要

- | | | | |
|----------|--------------------------|-----------------------|--|
| (1) 建設場所 | 松本市丸の内4番1号(松本城二の丸跡) | | |
| (2) 工期 | 昭和41年10月1日～昭和42年10月10日 | | |
| (3) 構造 | 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階塔屋付 | | |
| (4) 敷地面積 | 5,905.49㎡(1,789.54坪) | | |
| (5) 建築面積 | 1,331.53㎡(403.49坪) | | |
| (6) 延床面積 | 3,564.56㎡(1,079.80坪) | | |
| 内訳 | 地階：1,039.07㎡(314.86坪) | 1階：1,112.02㎡(336.97坪) | |
| | 2階：1,157.46㎡(350.74坪) | 塔屋：46.64㎡(14.13坪) | |
| | 重要有形民俗文化財収蔵庫：99㎡(30.00坪) | | |

2. 設備の概要

- | | |
|--------------|--|
| (1) 受電設備 | 受電電圧——3相、6600KV、60%
内訳：電灯——3相単線式、100V、60%
動力——3相3線式、60% |
| (2) 直流電源設備 | 直流整流器24V、15A、バッテリー(6V、60AH、PGS型)、非常灯配置 |
| (3) 電話設備 | 8回線可能(ボタン電話切替装置)、インターホン12回線 |
| (4) 盗難警報設備 | 各ケース内に超音波警報器——レーダーアイ(3ゾーン)、ミニットマンII(1ゾーン)設置、ニューホームボリス装備 |
| (5) 自動火災報知設備 | 1級受信機、副受信盤 |
| (6) BGM放送設備 | 全館BGM放送(8トラック) |
| (7) 一般放送設備 | 主に全館緊急呼出用 |
| (8) 非常放送設備 | 主に全館の避難、誘導、緊急放送等 |
| (9) 非常警報設備 | ロッカー型、防災アンプ装備および非常電源内蔵 |
| (10) 講堂放送設備 | ポータブル型、出力10W |
| (11) 昇降機設備 | 荷物用エレベーター1台、1000kg、30%I |
| (12) 給排水設備 | 高置水槽2000ℓ1基、膨張水槽2000ℓ1基、揚水ポンプ3.7kW3台、
雑排水中ポンプ1.5kW2台、汚水堅形ポンプ3.7kW2台 |
| (13) 消火栓設備 | 各階2カ所消火栓設置、消火ポンプ7.5kW |
| (14) 井水設備 | 水中ポンプ15kW、井水ポンプ3.7kW 各1台 |

- 05 ガス設備 都市ガス
- 06 空気調和設備 全館、セントラル系統・事務室系統・倉庫系統に分ける。冷凍機設備、ボイラー設備、空気調和機、ファンコイルユニット、オートロールエアフィルター設置
- 07 換気設備 機械室給排気ファン、トイレ、排気ファン、湯沸室排気ファン、中間期排気ファン、燻蒸室排気ファン、収蔵庫排気ファン、事務室排気ファン
- 08 避雷針設備

3. 工事関係者

- (1) 設計監督 株式会社 石本建築事務所
- (2) 建築工事 株式会社 間 組
- (3) 設備工事 株式会社 間 組
- (4) 電気工事 関東電気工事株式会社
- (5) 昇降機工事 日本エレベーター製造株式会社

4. 総工費 2億円

平面図



2階平面図 1:400

展示等部門別面積

部門	面積		比率	備考
	㎡	坪		
展示	地階	161.9	409.1	40.22%
	1階	579.2		
	2階	609.1		
管理	地階	304.9	402.1	11.98
	1階	97.2		
研究	地階	155.0	46.9	4.61
	1階	176.8		
教育	地階	214.26	331.86	9.88
	1階	53.3		
	2階	64.3		
収集・整理		25.9	7.8	0.77
階段廊下その他		916.0	277.5	27.28
計		3,357.86	1,017.1	100.0

V 平成元年度事業報告

1. 学芸活動

(1) 資料収集活動

ア. 博物館資料

⑦ 寄贈資料

下記のとおり10件49点の寄贈があった(受入順)。

月日	資料名	点数	区分	寄贈者名
1. 5. 24	棒 秤	1	民 俗	黒川 今朝太郎
5. 27	鳥 類 剥 製	7	自 然	上 条 恒 嗣
7. 27	お庚申さま祭壇一式 他	2	民 俗	関 正 男
8. 6	押 絵 籠	9	民 俗	浅 田 正 子
8. 6	七 夕 人 形	7	民 俗	増 田 重 信
11. 29	手 押 車 他	2	民 俗	北 岡 き ん
12. 4	軍 事 郵 便 他	14	総 記	黒川 今朝太郎
2. 2. 13	女 通 行 手 形	4	歴 史	西 郷 哲 夫
2. 13	みすず細工紙入箱	1	民 俗	西 郷 哲 夫
3. 26	マンモスゾウ化石	2	自 然	古 厩 繁

(イ) 購入資料

下記のとおり 9 件11点の資料を購入した(受入順)。

資料名	点数	点 数	備 考
西郷孤月「藤園」	1	美 術	絹本着色
石井柏亭「魚見崎風景」	1	美 術	水彩
石井柏亭「伊豆長津呂」	1	美 術	水彩
石井柏亭「海」	1	美 術	油彩
堀江正章「吉野山秋色」	1	美 術	油彩
上地瑛一郎「榊池」	1	美 術	水彩
志賀正人「北アルプス」	3	美 術	絹本着色
西郷孤月「池汀白鷺」	1	美 術	絹本着色
石井柏亭「浅間よりアルプス望見」	1	美 術	水彩

㉑) 平成元年度資料受入状況

区 分	総 記	考 古	歴 史	民 俗	自 然	美 術	時 計	文 献	合 計
寄 贈	14	0	4	22	9	0	0	5	54
購 入	0	0	0	0	0	11	0	174	185
製 作	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採 集	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14	0	4	22	9	11	0	179	239

㉒) 平成2年3月31日現在収蔵資料数(文献資料を含む)

区 分	総 記	考 古	歴 史	民 俗	自 然	美 術	時 計	文 献	合 計
63年度	2,060	23,413	10,748	31,006	21,421	1,063	342	1,796	91,849
元年度	2,074	23,413	10,752	31,028	21,430	1,074	342	1,978	92,091

4. 文献資料

㉑) 寄贈資料(受入順)

下記のとおり5件5点の寄贈があった。

文 献 名	刊行年・出版社名	寄 贈 者 名
日本の美術 276 香道具	1989. 5. 15 至 文 堂	同 左
地方史のとびらを開く	1989. 4. 15 北 樹 出 版	金 井 圓
日本の陶磁古代中世篇 三彩 緑釉 灰釉	1989. 10. 20 中央公論社	同 左
古 時 計	1989. 7. 1 東 峰 書 房	佐々木 壽 男
写真記録 昭和の信州	1990. 1. 20 信濃毎日新聞社	同 左

㉒) 購入資料

下記のとおり58件174点を購入した。

文 献 名	刊行年・出版者名
日 本 内 閣 史 録 1 ~ 6	1981. 8. 20 第 一 法 規
古典大系 日本の指導理念	1983~1984 第 一 法 規
松 本 繁 昌 記 (復 刻)	1982. 10. 8 山 籠 舎
日 本 民 俗 学 方 法 序 説	1984. 11. 20 弘 文 堂

文 献 名	刊 行 年 ・ 出 版 者 名
明 科 の 石 造 文 化 財	1981. 3. 31 明科町史編さん会
兵 士 た ち の 日 露 戦 争	1988. 5. 20 朝 日 新 聞 社
史 料 館 ・ 文 書 館 学 へ の 道	1985. 10. 10 吉 川 弘 文 館
講 座 日 本 の 封 建 都 市	1982~1983 文 一 総 合 出 版
日 本 古 文 書 学 講 座	1978~1981 雄 山 閣
学 校 こ と は じ め 辞 典	1988. 4. 20 小 学 館
戦 国 合 戦 絵 屏 風 集 成 第 1 卷	1988. 4. 5 中 央 公 論 社
日 本 近 代 思 想 大 系 4 軍 隊 ・ 兵 士	1989. 4. 24 岩 波 書 店
" 14 科 学 と 技 術	1989. 2. 22 岩 波 書 店
" 17 美 術	1989. 6. 22 岩 波 書 店
藩 史 大 事 典 第 3 卷	1989. 7. 15 雄 山 閣
原 色 牧 野 植 物 大 図 鑑	1986. 10. 30 北 隆 館
続 原 色 牧 野 植 物 大 図 鑑	1987. 10. 31 北 隆 館
原 色 高 山 植 物 大 図 鑑	1987. 3. 30 北 隆 館
原 色 樹 木 大 図 鑑	1985. 5. 31 北 隆 館
原 色 牧 野 和 漢 薬 草 大 図 鑑	1988. 10. 31 北 隆 館
原 色 世 界 植 物 大 図 鑑	1986. 4. 20 北 隆 館
原 色 園 芸 植 物 大 図 鑑	1984. 5. 20 北 隆 館
江 戸 学 事 典	1984. 3. 10 弘 文 堂
江 戸 東 京 学 事 典	1988. 2. 20 三 省 堂
生 涯 学 習 の ま ち づ くり シ リ ー ズ 全 8 卷	1989. 7. 15 ぎ ょ う せ い
長 野 県 歴 史 人 物 大 事 典	1989. 7. 16 郷 土 出 版 社
遊 び の 大 事 典	1989. 6. 28 東 京 書 籍
長 野 県 史 通 史 編 6 (近 世 3)	1989. 3. 31 長 野 県 史 刊 行 会
日 本 近 代 思 想 大 系 9 憲 法 構 想	1989. 7. 24 岩 波 書 店
昭 和 二 万 日 の 全 記 録 第 8 卷 占 領 下 の 民 主 義	1989. 4. 20 講 談 社
生 涯 学 習 講 座 全 6 卷	1989. 6. 15 第 一 法 規
日 本 近 代 思 想 大 系 20 家 と 村	1989. 9. 22 岩 波 書 店

文 献 名	刊行年・出版者名
長野県史通史編 8 (近代2)	1989. 3.31 長野県史刊行会
昭和二万日の全記録 第1巻 昭和への期待	1989. 6.20 講談社
” 第2巻 大陸にあがる戦火	1989. 7.20 講談社
” 第3巻 非常時日本	1989. 9.20 講談社
” 第9巻 独立-冷戦の谷間で	1989. 7.24 講談社
” 第4巻 日中戦争への道	1989.10.20 講談社
日本近代思想大系 21 民衆運動	1989.11.22 岩波書店
昭和二万日の全記録 第5巻 一億の「新体制」	1989.11.20 講談社
長野県の国宝・重要文化財 (建造物編)	1987.11.18 郷土出版社
松本平の人名録	1989 市民タイムス
日本近代思想大系 6 教育の大系	1990 1.22 岩波書店
昭和二万日の全記録 第6巻 太平洋戦争	1990. 1.24 講談社
長野県文学全集第I期 全10巻	郷土出版社
” 第II期 全10巻	1989.11.18 郷土出版社
菅江真澄民俗図絵 全3巻	1989. 2.15 岩崎美術社
「勉強」時代の幕あけ	1990. 1.12 平凡社
時計百科事典	1983. 7.20 精密工業新聞社
長野県史通史編 1 (原始・古代)	1989. 3.31 長野県史刊行会
昭和二万日の全記録 全10巻 テレビ時代の幕あけ	1990. 2.24 講談社
講座 日本風俗史 全7巻	1988~1989 雄山閣
宮本常一集 全43巻	1987. 1.20 未来社
日本の伝統色・色の小辞典	1989. 6.22 読売新聞社
生態学辞典	1983. 7.20 築地書館
生物学辞典	1989.12.15 岩波書店
科学技術人名事典	共立出版
川と湖の生態	共立出版

(例) 加入学会誌等

信濃史学会

信 濃 Vol.41 No.3～12
Vol.42 No.1・2

日本博物館協会

博物館研究 Vol.24 No.4～12
Vol.25 No.1・2

月刊文化財 No.307～317

文化庁月報 No.247～257

(例) 相互交換文献

a 博物館・美術館等

下記のとおり122館等と278種の相互交換があった。

【愛知県陶磁資料館】

とうじNo.28・29

企画展

「北陸のやきものー再興九谷ー」

【会津民俗館】

会津民俗館だより第19・20号

【アイヌ民族博物館】

アイヌ民族博物館だよりNo.18・19

【青森県立郷土館】

調査研究年報第13号 昭和63年度

調査報告第24集

「世増・畑内の民俗」調査報告書

青森県立郷土館だよりVol.20 No.1～4

【秋田県立博物館】

研究報告第14号 1989

館 報 昭和63年度

博物館ニュースNo.75～80

収蔵資料目録 自然Ⅲ

【麻布美術工芸館】

faber No.1～8

【飯田市美術博物館】

美博だより 5～8

かざこし山ー風越山の自然と文化ー

企画展「自然の宝庫ー雑木林ー」

【石川県立白山ろく民俗資料館】

白山麓白峰の山村生活目録

【石川県立美術館】

石川県立美術館だより第66～77号

年報No.2～4

石川県立美術館所蔵

「九谷名品図録」

【石川県立歴史博物館】

石川れきはく第10～13号

【市川市立市川歴史博物館】

行徳レポートその(1)年表・絵地図集

【一宮市博物館】

博物館だよりNo.6～8

特別展図録

「尾張のもめんーそのルーツを求めてー」

「一宮の名室(Ⅲ)」

企画展図録

「古墳のまつりーはにわー」

「尾張の戦国武将—兼松正吉—」

「木曾川とくらし」

年報(1) 昭和62・63年度

【茨城県立歴史館】

蔵書目録

【岩手県立博物館】

年報 昭和63年度

博物館だよりNo.40~44

【上田市立信濃国分寺資料館】

常設展示解説 「上田地方の古代文化」

特別展図録 「古代の役所」

【上田市立博物館】

特別展図録 「明治の上田」

【大分市歴史資料館】

特別展図録 「おもちゃの歴史」

【大阪市立自然史博物館】

館報第14号

【大町山岳博物館】

山と博物館第34巻 第4~12号

“ 第35巻 第1~3号

【大宮市立博物館】

わたしたちの博物館 第16・17号

解説シート 第6集

巡回展解説シート

「大むかしのくらし」

第6回企画展

「チョモランマ登頂展」

研究紀要 第1号 1989年

【小山市立博物館】

小山市立博物館報 第6号 昭和63年度版

博物館だより10

第20回特別展図録

「六世紀の村—喜沢海道間遺跡—」

紀要 第2号 1989年

【鹿児島県歴史資料センター・黎明館】

黎明館調査研究報告第3集

年報 昭和63年度

館だより「黎明」 Vol. 7 No.1~4

所蔵品目録(VI) 民俗

特別展図録「さつまの和歌」

企画特別展図録

「子どもの世界」

【鹿児島市立美術館】

年報 昭和63年度

所蔵品目録II 1989

市立美術館だよりNo.26~28

【神奈川県立金沢文庫】

金沢文庫研究No.282

特別展図録「中世の古い」

【神奈川県立博物館】

人文部門資料目録(10)

「民俗資料分類目録2」

神奈川県民俗調査報告16・17

研究報告(自然科学)18号

神奈川自然誌資料第10号

神奈川県立博物館年報 昭和63年度

博物館だより第106~111号

【川崎市立博物館】

開館記念「職人絵—姿絵にみる匠の世界—」

【川崎市市民ミュージアム】

館案内

紀要 第1集 1988

【岐阜県博物館】

調査研究報告第10号 1989

岐阜県博物館報第12号 1989

岐阜県博物館だより第38~40号

【京都国立近代美術館】

年報 昭和62年度

図録 「能弁なオブジェー現代アメリカ

工芸の展開」

美術館ニュース「視る」262～272号

【釧路市立博物館】

釧路市立博物館紀要 第14輯

釧路市立博物館報No.308、312～318

収蔵資料目録

植物標本目録 5

第23回特別展図録「北海道の化石展」

【熊本市立熊本博物館】

館報No.2・3・5

熊本市自然・文化資料集成

【群馬県立歴史博物館】

年報第9号 昭和62年度版

博物館だよりNo.34～38

所蔵資料目録 「民俗」

特別展 「神々のかたちー仮面と神像ー」

企画展図録

「ブルーノ・タウトの工芸と絵画」

調査報告書 第4・5号

紀要 第10号 1989

【憲政記念館】

特別展目録

「昭和の政変」

【神戸市立博物館】

博物館だよりNo.27～30

年報 No.5 昭和62年度

【国立史料館】

史料館報第50・51号

所蔵史料目録

第48集「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家

文書目録（その2）

第49集「越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その2）」

【国立民族学博物館】

研究報告 Vol. 13 No.4

Vol. No.1・2

研究報告別冊No.8・9

国内資料調査委員調査報告集10

月刊みんぱく Vol. 13 No.4～12

Vol. 14 No.1～3

【国立歴史民俗博物館】

研究報告第19～24集

歴博第34～39号

企画展図録 「中世の武家文書」

博物館資料調査報告書1

（民俗資料編1集）

【小松市立博物館】

研究紀要第26集

博物館だより第41～44号

【埼玉県立自然史博物館】

研究報告第7号

自然史だより第7・8号

館報 第1号 昭和62年度

自然史百科 29～32

【埼玉県立博物館】

特別展図録

「クィーンズランド文化展」

「酒の文化史」

【佐賀県立博物館】

神々のかたち 仮面と神像展

「佐賀の仮面」

【札幌市豊平川さけ科学館】

館報 第1号

【サントリー美術館】

美術館ニュース第104～110号

【塩尻市立博物館】

紀要第6集

平出遺跡考古博物館ノ－12

「信濃の縄文文化」

【静岡市立登呂博物館】

特別展図録 「小さなものへの愛情

－静岡ミニチュア文化史－」

【品川区立品川歴史館】

紀要 第3・4号

年報 第2号 昭和62・63年度

【信濃教育博物館】

「長野県の視覚・放送教育のあゆみ展」

解説書

【信濃町立野尻湖博物館】

博物館だよりNo21～23

【自由民権記念館】

建設準備ニュース

【真珠博物館】

展示解説ノート

【生活文化史料館】

生活文化史 第13・14号

歴史研究手帖 第4～7号

【仙台市歴史民俗資料館】

資料館だよりNo19・20

企画展図録 「働くものと道具」

年報 -10年のあゆみ-

【館山市立博物館】

年報第6号 昭和63年度版

館山市立博物館報No25～29

八大伝物語

地区展シリーズ⑧「古代安房の中心地－館野－」

【たばこと塩の博物館】

企画展図録 「信仰の道 成田街道」

【致道博物館】

館報「致道」第26号

【茅野市八ヶ岳総合博物館】

民俗資料収蔵品展図録 「編む・織る」

【千葉県立安房博物館】

安房博物館報第47号

特別展図録 「漁村の今昔－釣りと道具」

【千葉県立大利根博物館】

館報「おとね」第36～38号

特別展 「稻と稲染め」

調査研究報告 第3号

10年の歩み

【千葉県立上総博物館】

上総博物館報第6869号

【千葉県立美術館】

館報「みる・かたる・つくる」番60～63号

年報 昭和63年度

【千葉県立房総のむら】

館報「瓦版 大木戸」4・5号

年報3 昭和63年度

【千葉県立房総風土記の丘】

年報12 昭和63年度

房総風土記の丘だより第18号

企画展 「房総の古墳文化」

【千葉市立加曾利貝塚博物館】

貝塚博物館紀要第16号

【土浦市立博物館】

年報第2号 1989

紀要 第1号

「山村才助と蘭学の時代」

第3回特別展図録

「常陸のはにわ

— 埴輪が語る古墳時代の常陸 —

【天理参考館】

館報 第2号

【東京国立近代美術館】

研究紀要第2号

特別展図録

「高山辰雄展」

「昭和の美術」

「熊倉順吉の陶芸」

「オディロン・ルドン展」

「色彩とモノクローム」

研究成果報告書

「昭和戦前期の絵画の調査研究

— 1926年から1945年まで —

【東京国立博物館】

国立博物館ニュース第503～514号

【藤村記念館】

藤村記念館だより第58～60号

【東北歴史資料館】

年報 昭和63年度

館報「陸奥」第18号

【徳川美術館】

徳川美術館だより「葵」No.2～4

【徳島県博物館】

紀要 第20集

【戸田市立郷土博物館】

研究紀要第4号 1989

郷土博物館だより第6～8号

調査研究報告書 第1集

「戸田市の民俗芸能Ⅰ 中町念仏踊り

お小ねさん」

第5回特別展図録

「戸田の動物」

【栃木県立博物館】

研究紀要第6号 1989

【鳥取県立博物館】

郷土と博物館第68・69号

【富山県博物館協会】

会報 第11号

【豊橋市自然史博物館】

年報 No.1 1988 - 1989

【豊島区立郷土資料館】

豊島の板碑

失われた耕地

子どもたちの出征

豊島・宮城文書

収蔵資料目録 第3集

生活と文化

豊島区地域地図 1・2

【長岡市立科学博物館】

研究報告第24号

NKH (館報) No.54・55

【長野県信濃美術館】

図録「川上冬崖とその周辺

— 幕末から明治へ —

【長野県博物館協議会】

会報「博物館の友」No.16

【長野市立博物館】

年報 Vol. 6 昭和62年度

博物館だより第14・15号

特別展図録

第23回「ゆれる大地

— 地震・観測・災害 —

第24回「信濃の馬」

【長野市立博物館分館茶臼山自然史館】

第4回企画展図録

「いろいろな岩石」

【名古屋市博物館】

年報No12 昭和63年度

名古屋市博物館だより68～72号

企画展「伊勢湾をめぐる船の文化」

【新潟県博物館協議会】

新潟県博物館協議会ニュースNo.8

【日本のあかり博物館】

博物館ノートNo.20～22

【日本はきもの博物館】

日本はきもの博物館だより34～37

はきもの世界史

【沼津市明治史料館】

明治史料館通信第17～20

企画展解説書「沼津藩の人材」

【根岸競馬記念公苑（馬の博物館）】

年報第10号 1988

馬の博物館だよりNo.13・14

特別展図録「馬あそびの百科」

馬を飾る金工「象嵌の鑑」展

研究紀要 第2号「馬の祭礼目録」

調査研究報告「小谷村の石造 馬頭観音」

【野田市郷土博物館】

野田と貝塚

【博物館明治村】

明治村通信 225～236

【八王子郷土資料館】

年報 昭和62年度

郷土資料館だよりNo.35～37

八王子千人同心史編集集ニュースNo.4

収蔵古文書目録「梅坪村関係文書」

解説シート No.4

特別展図録「八王子宿のうつりかわり」

【八戸市博物館】

研究紀要第5号

年報第5号 昭和62年度

【浜松市博物館】

館報II

浜松市博物館だよりNo.26・27

特別展図録「銅鐸」

【彦根城博物館】

調査報告I「表御殿発掘調査・

復元工事報告書」

彦根城博物館だより5～8

【姫路市文学資料館開設準備室】

図録「和辻哲郎生誕百年祭」

【水見市立博物館】

年報第7号 昭和63年度

特別展図録

「一考古資料にみる一古代の越中」

「村嶋西一展」

「水見の曳山展」

【兵庫県立歴史博物館】

歴史博物館ニュースNo.26～29

【平塚市博物館】

研究報告「自然と文化」No.12

年報 No.12 1988

赤坂遺跡発掘調査報告書

【広島市郷土資料館】

ひろしま郷土資料館だより12～14号

【福井県立博物館】

特別展図録

「描かれた越前若狭一江戸時代の絵図一」

「石をめぐる歴史と文化」

- 紀要 第3号
 ふくいミュージアムNo.15・16
- 【福井市立郷土自然科学博物館】
 活動報告書第3号 昭和63年度
 特別展図録
 「郷土の自然・その移り変わり」
 自然観察ガイドブック 第1集
 「歩いてみよう足羽山」
- 【福井市立郷土歴史博物館】
 郷土歴史博物館報 復刊第14号
- 【福岡市立歴史資料館】
 研究報告第13集
 特別展図録 「ふくおか 100年の歩み」
 年報 No.16 昭和62年度
- 【福島県立博物館】
 企画展図録 「まちの成立とにぎわい」
- 【藤枝市郷土博物館】
 開館記念特別展図録 「田中城と本多石」
 開館一周年記念特別展図録 「志太の木喰伝」
 企画展図録
 「駿河の岩村藩」
 「東海道五十三次-岡部~藤枝~島田-」
 「藤枝のお茶」
 「戦時中のくらし」
 年報・紀要 No.1
 博物館概要
 常設展示解説
 「藤枝の歴史-原始から現代まで-」
- 【富士美術館】
 館だより 第19号
- 【府中市郷土の森】
 年報第2号 昭和62年度
 第3号 昭和63年度

- 府中市郷土の森だより「あるむぜお」
 7~10
- 特別展
 「氷河期の狩人-武蔵野台地の旧石器-」
- 【ブリヂストン美術館】
 館報 第36号 1987年度
 ブリヂストン美術館所蔵
 レンブラント作品調査研究報告
- 【松任市立博物館】
 石と折り
 館報 With悠 No.1
- 【松山市立子規記念博物館】
 俳句とHAIKU
- 【丸子町郷土博物館】
 特別展図録
 「長野県の生んだ現代日本画の巨匠
 白鳥映画展」
- 【宮島町立宮島歴史民俗博物館】
 宮島の歴史と民俗 No.6
- 【向日市文化資料館】
 特別展図録 「2訓乃古墳文化」
- 【焼津市歴史民俗資料館】
 第5回特別展図録
 「郷土の算学者・古谷道生」
- 【山口県立美術館】
 美術館ニュース「天花」 第42号
- 【山口県立山口博物館】
 館報11
 平成元年度事業要覧
- 【山梨県立美術館】
 美術館だより No.20・21
- 【山梨県立考古博物館】
 考古博物館だより No.18~20

第7回特別展図録

「一粒の穂-弥生農耕の風景-」

【郵政省通信博物館】

資料図録No.39・40

研究調査報告1

【横須賀市自然博物館・横須賀市人文博物館】

研究報告(人文科学)第32・33号

b 大学博物館学講座・大学博物館等

下記のとおり13講座・館と16種の交換があった。

【秋田大学鉱山学部鉱業博物館後援会】

鉱業博物館第21号 昭和63年度

【お茶の水女子大学学芸員課程】

博物館実習報告第5号

【國學院大學博物館学研究室】

博物館學紀要 第13輯 1988

【実践女子大学博物館学講座】

MUSEOLOGY 第8号

【東京大学総合研究資料館】

総合研究資料館ニュース16・17号

【東京農業大学農業資料室】

展示案内No.7・8

【同志社大学博物館学芸員課程】

博物館学年報第21号

【東北学院大学文学部史学科加藤研究室】

学芸員課程報第8・9

c 教育委員会

下記のとおり16教委と32種の相互交換があった。

【厚木市教育委員会】

郷土資料室だより14

文化財調査報告書 第31集

「厚木の民俗6」

横須賀市博物館資料集第13号

横須賀市博物館報第36号

【碌山美術館】

碌山美術館報No.10

【明治大学考古博物館】

藏品図録1 「鏡」

【明治大学刑事博物館】

年報20

明治大学刑事博物館目録第54号

資料No.11

【明治大学商品陳列館】

明大商品陳列館報第13号

【立教大学学校・社会教育講座】

MOUSEION No.34

【早稲田大学坪内博士記念演劇博物館】

紀要「演劇研究」第13号

演劇博物館61

特別展図録 「養蚕資料展」

【大宮市教育委員会】

大宮の教育史調査概報(Ⅰ)～(Ⅳ)

【笠間市史編さん委員会】

かさま市史編さんだより No.8・9

【春日居町教育委員会】

桐田遺跡

【久留米市教育委員会】

仮称久留米歴史博物館準備室だよりNo.1

【佐賀県教育委員会】

特別史跡 名護屋城跡並びに陣跡

【相模原市教育委員会】

つり漁調査報告書

相模川の砂利採取

相模原の祭礼行事

神楽と芝居

相模原市中世石造遺物

調査報告「中世の石造物」

埋蔵文化財発掘調査概報集

博物館建設準備だよりNo.92～102

【信濃町教育委員会】

一茶忌第14回学童俳句入選句集

【白峰村教育委員会】

手取川流域の珪化木産地保存対策調査報告書

【世田谷区教育委員会】

1987年度年報

中野田遺跡

滝ヶ谷遺跡Ⅱ

喜多見陣屋遺跡Ⅰ

世田谷の近代建築 第2輯

世田谷歴史・文化ウォッチング

せたがやの文化財 No.001

1988世田谷区埋蔵文化財調査年報

奥沢台遺跡Ⅰ

稲荷丸北遺跡Ⅱ

東山野遺跡

【辰野町教育委員会】

上の山遺跡Ⅱ

【茅野市教育委員会】

茅野市八ヶ岳総合博物館常設展示解説

【豊中市教育委員会】

豊中市埋蔵文化財発掘調査概報

1988年度

【八王子市教育委員会】

八王子千人同心関係文書目録第2集

八王子千人同心関係史料集第2集

「千人頭月番日記(2)」

郷土資料館資料シリーズ第28号

「石川日記(11)」

【広島市教育委員会】

広島市郷土資料館年報第4集

「広島市における和傘づくりとその技術」

広島市郷土資料館調査報告書第4集

「かもじづくり」

【藤枝市教育委員会】

藤枝市の文化財

【松本市教育委員会】

松本市文化財調査報告

No.67・69～73・75～79・81

昭和63年度の中山地区発掘調査概報

「坪の内・向畑・南中島遺跡」

平安時代集落址の緊急発掘調査概報

「三間沢川左岸遺跡(Ⅰ)」

【松本市史編さん室】

松本市史編さん室だより第1～19号

【松山市教育委員会】

松山市文化財調査年報Ⅱ

【水沢市教育委員会】

水沢の自然と文化Ⅲ

【宗像市教育委員会】

宗像市文化財調査報告No13~17・20・21

宗像市文化財展資料 第4集

d 大学

下記のとおり14大学（研究所）と21種の相互交換があった。

【茨城大学五浦美術文化研究所】

研究所報第12号

【岡山理科大学】

紀要第24号 A（自然科学）

B（人文・社会科学）

【岡山理科大学蒜山研究所】

研究報告第15号

【神奈川大学日本常民文化研究所】

民具マンスリー Vol. 22 No.1~12

要覧 1989

論集「歴史と民俗」4

調査報告No.14

【國學院大学文学部考古学研究室】

実習報告第17・18

【成城大学民俗学研究所】

紀要第13集

諸国叢書 第6輯

民俗学研究所ニュースNo.5~7

【帝京大学山梨文化財研究所】

山梨文化財研究所報第7・8号

研究報告 第1集

【帝塚山大学】

紀要 第25輯（1988）

論集62~65号

【東京芸術大学美術学部】

紀要第24号 歌文編 和文編

【東京大学史料編纂所】

東京大学史料編纂所報第23号

【東京大学文学部考古学研究室】

研究紀要 第7号

【図書館情報大学附属図書館】

附属図書館報 Vol.5 No.1~3

【法政大学多摩校地域山地区遺跡調査委員会】

風間遺跡群発掘調査報告書

【和洋女子大学】

紀要第29集 文系編 家政系編

e 研究所

下記のとおり6研究所と9種の相互交換があった。

【（財）元興寺文化財研究所】

文化財研究No.31~33

【高澤学園修復研究所】

研究所報告No.7

【丹青総合研究所・文化空間研究部】

ミュージアム・データNo.9~12

【徳川林政史研究所】

研究紀要第23号

【奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター】

埋蔵文化財ニュースNo.64~66

【ポーラ文化研究所】

伝統と文化No.12・13

研究ノート「マキエ」No.1

研究所案内

化粧文化No.20

f 学術団体・学会等

下記のとおり2団体と2種の相互交換があった。

【工芸学会】

工芸学会通信No.82~83

【長野県民俗の会】

長野県民俗の会通信

g その他

下記のとおり10団体と11種の相互交換があった。

【アイヌ無形文化伝承保存会】

アイヌ文化No.14

【日本新工芸家連盟】

新工芸ニュースNo.22・23

【近代美術協会】

図録「第26回近代美術協力会展」

【日本生命財団】

日本生命財団ニュースNo.55~62

【全国農協観光協会】

農村民俗芸能便覧

事業の概要 昭和63年度

【統群書類従完成会】

季刊ぐんしょ 再刊第4・5号

【八十二文化財団】

地域文化No.9~11

【中信美術奨励基金】

美術京都 第4・5号

【名著出版】

月刊歴史手帖 Vol. 17 No.5・9・10
18 No.1・2

【中信美術奨励基金】

美術京都 第4・5号

(h) 相互交換ポスター

平成元年度は、120館と259種のポスターの相互交換があった。記載事項はa特別展・企画展名 b会期 cサイズ d図柄の順になっている。またCoはカラー、Moはモノクロを示す。

【愛知県陶磁資料館】

企画展					
北陸のやきもの 再興九谷	7. 2~8. 27	B2	色絵龍虎文高卓	粟生屋源右衛門作	Co
瀬戸陶芸協会展	9. 3~10. 5	B2	彩砂磁鷓鴣盤	鈴木青々作	Co
近世陶磁の文様-色絵と染付-	10. 10~11. 26	B1	色絵荒磯文鉢	伊万里 他	Co

昭和の陶芸・伝統と革新	2. 3~ 4. 8	B1	荒川豊蔵 志野波に千鳥鉢	Co
【愛知県立美術館】				
第21回日展	'90. 20~ 2. 12	B3	_____	Co
【アイヌ民族博物館】				
第6回企画展 北方圏	8. 15~ 9. 30	B2	_____	Co
【芦屋市谷崎潤一郎記念館】				
第3回特別展 潤一郎の内面を語る 小説資料	4. 9~ 8. 6	B2	潤一郎著書の初版本（昭和24~38年）	Co
【麻布美術工芸館】				
知・遊・感	6. 14	open	_____	
江戸のふあっしょんー肉筆浮世絵にみる女たちの装いー	6. 14~ 7. 2	B2	立ち美人図（部分） 菱川師宣	Co
国際（紙）造形展	7. 11~ 7. 30	A1	_____	Co
現代工芸の一断面（コスミック・イメージの饗宴）	9. 1~ 9. 30	B2	_____	Co
第18回長三賞陶芸展	10. 10~10. 22	B2	_____	Co
文化の源流を染める 現代の染色・皆川泰蔵	'90. 9~ 1. 28	B2	_____	Co
韓国の陶芸と陶通	2. 6~ 2. 18	A1	_____	Co
【飯田市美術博物館】				
開館記念 ・菱田春草展 ・風越山展	10. 3~11. 12 10. 8~12. 3	B2	明治35年重文 「王昭君」(部分)	Co
開館記念 巴里のエlegantな視線				
・サラ・ムーン展	12. 9~12. 24	B3	_____	Co
中央出品作品展	2. 22~ 3. 4	A2	_____	Mo
日夏秋之介展	2. 17~ 3. 11	A2	_____	Co
知られざる須田剣太の世界	3. 17~ 4. 15	A2	_____	Co
【石川県立美術館】				
名古屋城障壁画名作展	10. 1~10. 29	B2	（玄関一之門二之門境） 竹林豹虎図横	Co
【一宮市博物館】				
尾張のもめんーそのルーツを求めてー	4. 28~ 5. 28	B2	_____	Co
一宮の名宝（Ⅲ）	10. 21~11. 23	B2	市文・花鳥之図（妙興寺蔵）	Co

尾張の戦国武将—兼松正吉—	12. 23~ 1. 28	B3	関ヶ原合戦図巻(名古屋博物館蔵)	Co
木曾川とくらし	2. 24~ 3. 25	B3	天保九年木曾木材出小路伐出之図巻	Co
【糸魚川市歴史民俗資料館】				
巨匠の名画・50選	10. 5~10. 15	B2	加山又造「月と駱駝」	Co
【岩手県立博物館】				
平成元年度 館《行事案内》	89. 4. 1~ 90.3. 31	B2	_____	Co
第1回企画展 古代・みちのく・エミシの世界	6. 11~ 7. 23	B2	_____	Co
第2回企画展 岩手の明助維新	9. 24~10. 22	B2	槽山佐波画像(狩野存信筆)	Co
【上田市立信濃園分寺資料館】				
古代の役所	7. 22~ 8. 31	B3	_____	Co
【上田市立博物館】				
明治の上田	10. 14~11. 11	B3	上田街学校(明治11年竣工)	Co
【宇部市野彫刻美】				
第13回現代日本彫刻展	10. 1~11. 10	B2	テーマ・光と大地	Co
【馬の博物館】				
横浜「馬の博物館」所蔵品展	7. 23~ 9. 24	B3	_____	Co
象旅の鑑展	10. 10~11. 5	B2	_____	Co
午年は馬の博物館へ(新展示室来春完成)	1. 5~特別展案内		賀茂競馬図屏風(部分) りす葡萄朱漆塗敷	
【大阪市立東洋陶磁美術館】				
桃山の茶陶展(洛中の新発掘品と伝世の名品)	5. 16~ 6. 18	B2	黄瀬戸茶碗、重文・絵唐津松文大皿 織部向付	Co
【太田記念美術館】				
夏期浮世絵集中講座	7. 25 7. 30	B3	①「浮世絵の歴史Ⅰ」 ⑥「浮世絵の美学」 文学のみ	Mo
浮世絵優品展 広重を中心として	前 9. 1~ 9. 24 後 8. 1~ 8. 24	B2	_____	Co
小林清親展	前 10. 1~10. 27 後 11. 1~11. 26	B2	_____	Co
浮世絵名品展	1. 3~1. 24, 2. 1~2. 25, 3. 1~3. 25	B3	葛飾応為 吉原格子先の図	Co

【大津市歴史博物館】

平成2年秋オープン

シンボルマーク、マスコット・キャラクター募集 元 9.30 締切

【大町エネルギー博物館】

第47回全日本学生児童発明くふう展

4.26~ 5.31 B3 _____ Co

第11回未来の科学の夢絵画展 6. 4~ 6.25

【大町山岳博物館】

日本山岳画協会大町展 7.23~ 8.27 B2 _____ Co

【(岡崎市)三河武士のやかた家康館】

松平の族葉 10.17~11.20 B2 藤井松平二代信一が家康から拝領した具足 Co

【(市立)岡谷美術考古館】

武井武雄展(没後七周年記念) 10.22~11.26 B2 乳の家1969年 武井武雄 Co

【鹿児島県歴史資料センター黎明館】

館企画特別展 さつまの和歌 7.29~ 8.27 B2 税所敦子筆和歌屏風(部分) Co

【鹿児島市立美術館】

肉筆による橋口五葉はがき絵展 4.29~ 5.21 B3 _____ Co

新収藏品展 6.10~ 7.16 B3 西山英雄「噴炎」 Co

親と子でみる世界の名画展 7.21~ 8.20 B3 アルフレッド・シスレー「サン・マメスのロワン河畔の風景」 Co

【神奈川県立金沢文庫】

中世の古い 10. 1~11.30 B2 尊皇王(諸尊偶像集) Co

【鎌倉国宝館】

氏家浮世絵コレクション 4.27~ 5.14 B3 しだれ桜三美人図(月岡雪鼎筆) Co

古都名宝百華撰 10.21~11.19 B2/B3 国宝、鎌菊螺鈿蒔絵視箱 他2点 Co

鎌倉の名宝 1. 4~ 1.21 B3 市文 鎌倉彫獅子牡丹文硯台(当館) Co

ひな人形 2.22~ 3.11 B3 享保びな(男びな) Co

【軽井沢高原文庫】

森のメルヘン グリム童話の世界展

4.18~ 5.14 B2 <白雪姫>よりベルナデッテ・ワルツ Co

【軽井沢町立追分宿郷土館】

企画展 追分節・追分馬子唄パネル展

10. 8~10.29 B3 木曾街道追分宿浅間山眺望 Co

【軽井沢町資料館】

軽井沢と鉄道 7. 29~ 8. 27 B2 碓氷アプト式鉄道と草軽電気鉄道 Mo

【川越市立博物館】

「姿絵にみる匠の世界」 3. 1~ 4. 8 B1 (開館記念特別展) Co

【岐阜県博物館】

濃飛の古墳時代 4. 26~ 6. 18 B2 円満寺山古墳(南濃町)出土
三角縁神獸(銅鏡)部分 Co

特別展 ふるさとの野鳥 7. 12~ 9. 17 B2 Co

【京都国立近代美術館】

ジウジアーロ デザインの世界 4. 25~ 5. 28 B2 _____ Co

ル・サロン(1667-1881)の巨匠たち フランス絵画の精華
6. 6~ 7. 16 B2 シャルル=ジョゼフ・ナトワール
金の雨に変身したユピテルを受けとめる。 Co

現代デザインの水脈: ウルム造形大学展
6. 20~ 7. 9 B2 _____ Co

池田遥都展 9. 19~10. 15 B2 野仏 1982年 Co

能弁なオブジェー現代アメリカ工芸の展開
10. 3~12. 17 B2 ミリアム・シャピロ
「メキシコの想い出」1981年 Co

色彩とモノクローム 1. 5~ 2. 12 B2 Gエッセル<立つ頭部>(部分)1988年 Co

国吉康雄展 2. 20~ 4. 1 B2 ご覧、飛ぶよ1946年頃 Co

【京都国立博物館】

美の旅人 池田遥都遺作展 9. 19~10. 15 B2 野仏 Co

【京都市美術館】

1989年 国展工芸部関西展 5. 16~ 5. 21 B2 _____ Co

【京都文化博物館】

開館1周年記念 海を渡って来た人と文化
9. 15~10. 22 B2 長原遺跡出土船形埴輪 Co

【群馬県立歴史博物館】

ブルー・ダウトの工芸と絵画 4. 22~ 5. 28 B2 秋雨に濡れる洗心亭 ダウト筆・色紙 Co

第33回企画展 赤土にひそむ文化 岩宿遺跡40年
7. 21~ 8. 31 B2 _____ Co

平成元年度 催し物案内 '89 4~'90 3. B3 _____ Co

いま、ふるさと歴史学。 伊東深水 奥利根室川春景図

【憲政記念館】

昭和の政党特別展 3. 8~ 3. 27 B2 _____ Co

【神戸海洋博物館】

市制100周年記念 KOBE ミナトマチ1番地
'89 11. 3~'90 5. 27 B2

【国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館(2)】

明治のうつわ 4. 1~ 6. 30 B3 _____ Co
菓子型展 9. 1~11. 22 _____ Co
日本の文様3 吉祥文 '89 12. 1~'90 2. 24 B3 _____ Co

【国立民族学博物館】

大マンデス文明展 よみがえる太陽の帝国インカ
9. 14~12. 12 B2 _____ Co
赤道アフリカの仮面 3. 15~ 5. 31 B2 _____ Co

【国立歴史民俗博物館】

館案内(所在地, 休館日, 開館時間, 交通機関) B2 _____ Co
企画展示 中世の武家文書
10. 24~11. 19 A3 足利尊氏 御判御教書
(田代文書(広橋本)) _____ Co

【小松市立博物館】

本陣美術展 10. 6~11. 5 B2 川端龍子「楓と鯉」 _____ Co

【五島美術館】

水墨画・古筆と李朝の陶芸 4. 1~ 5. 7 B2 _____ Co
アジアの民族造形 形のエスノロジー
5. 13~ 7. 25 B2 _____ Co
展示室改装工事のため休館 6. 26~ 9. 29(次回展示「館蔵」中国の古鏡と陶芸 9. 30~10. 29
次々回展示 秋の優品展 11. 3~12. 10
中国の古鏡と陶芸 9. 30~10. 29 B2 _____ Co
日本の絵画・書跡と陶芸 11. 3~12. 10 B2 _____ Co
茶道具取合せ展 12. 16~ 2. 12 B2 _____ Co
近代の日本画 2. 17~ 3. 25 B2 横山大観 四季富士(冬春夏秋部分) _____ Co

【埼玉県立博物館】

丘陵に生きた人々の暮らしと文化 特別展 比企
4. 25~ 5. 28 B2 写真(鳩山町教育委員会提供) _____ Co
グリーンズランド文化展 10. 28~12. 3 B2 写真=グレードバリアリーフ;
グリーンズランド州・オーストリア _____ Co
酒の文化史 2. 6~ 3. 11 B2 漆塗り太鼓形酒筒: 重文 _____ Co

【茶道資料館】

夏季展 茶の湯の好み「籠」 6. 10~ 8. 6 B2 _____ Co

'90 明日への茶道美術 公募展	9. 6~9. 20	B2	_____	Co
高麗茶碗	10. 14~11. 23	B2	_____	Co
明日への茶道美術公募展 申込期限	1. 31	B2	_____	Co
【サントリー美術館】				
桃山の華 屏風・襖絵	5. 27~7. 2	B2	_____	Co
びいどろ・ぎやまん・ガラス	7. 11~8. 27	B2	_____	Co
海を越えた日本の着物	9. 5~10. 15	B2	_____	Co
出土品とハイビジョン映像による「藤ノ木古墳とその時代」展	10. 21~11. 19	B2	耳環、首飾り、金銅製冠 他	Co
桃むかたち THE SUNTORY PRIZE '89	11. 29~12. 27	B2	NOVEMBER 1989 DESIGN T. KAWAKAMI	Co
江戸の巧芸 くし・かんざし・化粧具	1. 6~1. 28	B2	_____	Co
伊達政宗とローマ使節・支倉常長	2. 3~3. 11	B2	_____	Co
【信濃教育博物館】				
信山書展	10. 16~12. 2	A3	「堅勁」(昭44年内閣総理大臣賞)	Co
【信濃町立野尻湖博物館】				
第5回特別展 「野尻湖の自然と人間」	7. 1~9. 29	B2	天保8年(1837年) 信濃全国切絵図(野尻)	Co
【島根県立博物館】				
山雲の美術名品展	4. 23~5. 14	B2	薫風自南来 松平不昧公筆	Co
【下諏訪町立博物館】				
特別展 諏訪湖—絵画にみる諏訪湖の今昔—	10. 7~10. 22	A2	_____	Co
【釈迦堂遺跡博物館】				
山梨の生い立ち	9. 27~11. 6	B2	_____	Co
【上越市立総合博物館】				
漂泊とロマンの画人 竹久夢二展	10. 7~10. 22	B2	立田姫 昭和6年	Co
【相国寺承天閣美術館】				
春日局と海北友松展	前 4. 8~8. 15 後 8. 19~12. 17	B2	(重文) 海北友松筆 琴棋書画図	Co
伝来の障壁書展	1. 7~5. 27	B2	円山応挙筆 芭蕉下狗子図杉戸	Co

【白根桃源美術館】

日本現代工芸美術長野会展 4. 11~ 6. 30 B2 漆芸「麗華」小口正二 Co

【信州新町美術館】

犀峽の四季展 4. 26~ 5. 21 B3 北アルプス遠望、栗原 信 他 Co

'89 新陽展(油彩・水彩・きり絵 他)
6. 14~ 7. 21 B3 ノートルダム 上木伸之 Co

犀川百景展 9. 20~ 11. 1 B3 油彩 45 cm×45 cm 青山 寿 Co

生涯百年 横井弘三展 10. 4~10. 22 B2 新町風景 Co

【須坂市立博物館】

かまいたちと蔓珠沙華 田中芥子木版画展
5. 13~ 6. 18 B2 _____ Mo

哀愁と孤高の画家「横井弘三」展
8. 1~ 9. 3 B2 「志賀高原丸池附近立雲」 Co

【(珠洲市立)珠洲焼資料館】

開館記念特別展 珠洲の名陶 4. 1~ 6. 30 A2 _____ Co

【諏訪市美術館】

日本現代工芸美術長野会展(第9回)
7. 25~ 7. 30 B2 _____ Co

【成興館】

加賀前田家伝来の雛人形・雛道具展
2. 22~ 4. 17 B2 _____ Co

【仙台市歴史民俗館】

企画展 し・る・し展 6. 18~10. 22 B3 _____ Co

働くものと道具展 10. 29~ '90 2. 25 B3 _____ Co

【武石村ともしび博物館】

11月3日(※)開館 B2 開館時間、休館日、入場料=案内

【館山市立博物館】

館山春の城まつり協賛展 武器と武具
4. 28~ 5. 14 B3 _____ Co

岩崎巴人展 5. 20~ 6. 18 B3 口説如唾 Co

ふるさと再発見 子供の世界 7. 29~ 8. 27 A3 _____ Co

八犬伝物語 辻村ジュサブロー・新八犬伝人形 Co

古代安房の中心地 2. 10~ 3. 18 A2 _____ Co

【財田部美術館】

第6回田部美術館大賞 茶の湯の造形展

6. 3~ 7. 2 B2 白釉窯変細水指 岡田裕作 他2点 Co

開館10周年記念 茶の湯の器 10. 7~11. 5 B2 _____ Co

【たばこと塩の博物館】

きんからがわの世界 10. 7~12. 3 B2 _____ Co

【茅野市尖石考古館】

野やき展 10. 12~10. 29 B3 _____ Co

【茅野市美術館】

矢崎虎夫遺作展 9. 30~10. 15 A2 制作中の矢崎虎夫 Co

【茅野市八ヶ岳総合博物館】

民俗資料収蔵品展 編む・織る 11. 10~11. 30 A2 _____ Co

【千葉県立美術館】

房総と近代美術 4. 20~ 6. 25 B2 ジャン・フランソワ・ミレー
「垣根に沿って草を食む羊」他5点 Co

房総の美術家シリーズ-19- 山本不二夫展
7. 1~ 30 A2 _____ Co

【千葉県立房総のむら】

体験博物館 企画展大道芸-往來の芸能者たち-
5. 4・ 5. 5 B1 _____ Co

体験博物館 企画展「房総のまつり」
10. 22・29, 11. 3・5 B _____ Co

【千葉県立房総風土記の丘】

案内 B1 _____ Co

【千葉市加曾利貝塚博物館】

縄文土器作品展 11. 1~11. 30 A2 _____ Mo

【千葉市立郷土博物館】

星の美術展 10. 5~10. 29 A2 「シーラの星図」1627 Co

【清翠美術館】

第89回展観 雅のコレクション 4. 2~ 7. 16 B2 古清水色絵籠形花入・水涵 Co

創立25周年記念 第90回展観 読空桜コレクション
9. 12~12. 10 B2 _____ Co

遊具の美 1. 14~ 3. 25 B2 _____ Co

【調布市 武者小路実篤記念館】

中川一政と武者小路実篤 4. 29~ 6. 4 B2 _____ Co

【天理大学附属 天理参考館】

第6回企画展 イランの焼物—土器と釉薬陶器—
4. 15~ 6. 27 B2 _____ Co

第7回企画展 アンデスのつば 7. 25~ 8. 31 B2 _____ Co

第8回企画展 古代の鬼瓦 9. 23~11. 26 B2 _____ Co

第9回企画展 失われゆく文化 '90. 1. 20~3. 26 B2 _____ Co

【東京国立近代美術館】

高山辰雄展 5. 26~ 7. 9 B3 牡丹1988年 _____ Co

昭和の美術 7. 21~ 9. 17 B2 北脇 昇 7才 _____ Co

熊谷順吉の陶芸 生命のかたち 9. 19~11. 5 B2 _____ Co

色彩とモノクローム 9. 30~11. 26 B2 G.エットル<立つ頭部>部分1988 _____ Co

能弁なオブジェ—現代アメリカ工芸の展開
1. 5~ 2. 12 B2 ミリアム・シャピロ「メキシコの想い出」 _____ Co

【東京国立博物館】

室町時代の屏風絵（「国華」創刊100年記念特別展）
3. 28~ 5. 7 B1 四季花木図（部分）出光美術館蔵 _____ Co

室町時代の美術 10. 10~11. 19 B1 重文、襦鳥糸威肩赤胴丸（大袖） _____ Co

【徳川美術館】

尾張徳川家伝来の名刀 4. 8~ 5. 7 B2 国宝 名物津田遠江長光
国宝 名物包丁正宗 _____ Co

能の華—梅若六郎家能面能装束から—
5. 13~ 6. 11 B2 _____ Co

特別陳列 祭礼図（描かれた祭りの世界）
6. 17~ 7. 16 B2 _____ Co

特別陳列 陶磁の美 7. 22~ 9. 17 B2 _____ Co

日本の意匠—春の彩り— 9. 23~11. 12 B2 _____ Co

特別陳列 大名の見た浮世絵版画
11. 18~12. 17 B2 _____ Co

特別陳列 大名の能—尾張徳川家伝来—
'90. 1. 4~ 2. 4 B2 _____ Co

尾張徳川家の雛祭り 2. 10~ 4. 8 B2 _____ Co

【豊島区立郷土資料館】

戦中戦後の区民生活 '89. 12. 8~'90. 1. 30 A3 戦火をうけた池袋の光景
杉浦 茂氏画

【戸田市立郷土博物館】

戸田の動物 10. 1~11. 29 B2 トダメスジゲンゴロウ Co

【豊科町郷土博物館】

第2回現代巨匠写真展 4. 28~ 5. 10 B2 文字のみ Mo

開館10周年記念 現代安曇野版画・工芸作家展
6. 7~ 6. 23 B2 夕焼け 桂木一八 他14点
(出品作家15人) Co

開館10周年記念 豊科町郷土博物館収蔵品展
7. 30~ 8. 20 B2 井口香山「槍ヶ岳・穂高岳屏風」
(右隻) Co

鏡の文化史展 10. 14~10. 29 B2 _____ Co

【豊橋市美術博物館】

開館10周年記念 吉田城と歴代城主
9. 22~10. 22 B2 _____ Co

19世紀フランス印象派展 10. 27~11. 26 B2 ルノワール、ルーマニア婦人の肖像 Co

開館10周年記念 3. 2~ 3. 25 B2 「高須光治君の肖像」岸田劉生 Co

【中野区立歴史民俗資料館】

企画展 「THE・テニス」-その歴史 10. 3公開

【長野県信濃美術館】

光と色彩のロマン 印象派と近代日本の絵画展
4. 15~ 5. 14 B2 ゴッホ(1853~90)「サン・レミの道」 Co

信州の美術-新収蔵品を中心として-
6. 3~ 7. 16 B3 草間彌生「南瓜」 Mo

東ドイツ美術の現在 7. 22~ 8. 20 B2 クレメンス・グレッサー
「カフェ・リオレ」 Co

信濃の春を描く '90 1. 13~ 2. 18 B3 藤島武二「杏花」 Co

アクセリ・ガレン=カレラ絵画展
'90 1. 13~ 1. 23 B3 「処女は水の母としてさ迷った。
東に泳ぎ、西に泳ぎ」 Co

川上冬崖とその周辺 2. 24~ 3. 25 A2 「樹木図」「花鳥」 Co

【長野市立博物館】

プラネタリウム 1989年夏 第3感星 地球
5. 20~ 7. 23 B3 _____ Mo

第23回特別展 ゆれる大地-地震・観測・災害-
7. 9~ 8. 27 B3 地震後世俗語之種
(松代藩文化施設管理事務所蔵) Co

プラネタリウム№32	星が流れる—流れ屋のひみつ—	7. 29—9. 10	B3	—————	Co
プラネタリウム№33	1989年秋、不思議な星“ミラ”	9. 15—11. 26	B3	絵：永野裕子	Co
第24回特別展	信濃の馬	10. 8—11. 23	A2	放牧千疋馬（北向観音堂）	Co
プラネタリウム№34	1989～90冬 ヘンダーと加代子木屋へ行く	'89. 2. 2—'90. 2. 25	B3	絵：永野裕子	Co
プラネタリウム№35	1990年春 移り変わる北極星	3. 3—5. 13	B3	絵：永野裕子	Co

【（長野市立博物館分館）茶臼山自然史館】

第4回特別展	いろいろな岩石	4. 29—11. 23	A2	—————	Co
--------	---------	--------------	----	-------	----

【名古屋市博物館】

特別展	日本の古典	9. 23—10. 22	B2	国宝「倭漢抄下巻」關明文庫藏	Co
南京博物院	名宝展	11. 3—12. 17	B3	緞繡玉衣、後漢時代 他	Co

【増原考古研附博物館】

吉野ヶ里遺跡展	10. 14—10. 29	B2	かめ棺、他4点写真	Co
---------	---------------	----	-----------	----

【日本はきもの博物館】

世界のはきものシリーズ②《ビザンティン》	4～13世紀	B2	変	Co
世界のはきものシリーズ③《ゴシック》	13～15世紀	B2	変	Co

【沼津市明治史料館】

企画展	沼津藩の人材	8. 1—9. 29	A2	—————	Mo
-----	--------	------------	----	-------	----

【根岸競馬記念公苑 馬の博物館】

春季特別展	馬あそびの百科	4. 28—6. 4	B2	—————	Co
-------	---------	------------	----	-------	----

【根津美術館】

館蔵名品展	5. 12—6. 11	B2	—————	Co
茶碗百佳撰プラス巻	6. 16—7. 30	B2	—————	Co

—お知らせ—（改装のため平成元年7/31より約1年間休館させていただきます）

【博物館 明治村】

明治の衣裳	4. 16—5. 5	B2	松竹梅模様打掛	Co	
日本近代洋画の父	黒田清輝展	3. 25—5. 5	B2	舞妓（重要文化財 東京国立博物館蔵）	Co
”	”	3. 25—5. 5	B3	湖畔（東京国立文化財研究所蔵）	Co

【八王子市郷土資料館】

中世の多摩地方 10. 29~12. 3 B2 _____ Co

【浜松市博物館】

開館10周年記念

・特別展「銅鐸」 7. 25~8. 31 B3 _____ Co

・シンポジウム「銅鐸って何だ？」7. 30 B3 _____ Co

・企画展「収蔵資料展」 '89. 11. 1~'90. 5. 5 B3 _____ Co

【パイロット筆記具資料館】

うるし製品、彩りの世界 漆器展

10. 7~10. 29 B2 _____ Co

【彦根城博物館】

企画展 彦根更紗 10. 20~11. 26 B3 白地花鳥蝶模様更紗 Co

【飛騨高山印籠美術館】

3. 16~11. 30 B2 _____ Co

【水見市立博物館】

古代の越中 7. 15~ 8. '6 B2 _____ Mo

村崎西一展 10. 20~11. 12. A1 伊豆葛城連山

水見の曳山展 3. 2~ 3. 25 A1 _____ Mo

【福井県立博物館】

石をめぐる歴史と文化 10. 20~11. 26 B2 _____ Co

【福井市立郷土歴史博物館】

史料が語る先人のあゆみ 10. 1~10. 31 B2 武田三将因 Co

【福井市立郷土自然科学博物館】

市制 100周年記念特別展 郷土の自然その移り変わり

4. 23~ 5. 31 B2 _____ Co

【福島県立博物館】

企画展 まちの成立とにぎわい 7. 4~ 9. 3 B2 _____ Co

【藤枝市郷土博物館】

鍛冶と郷土刀 1. 21~ 3. 11 A1 _____ Co

【富士美術館】

やまと絵の心一屏風の美展 6. 2~ 7. 16 B2 伝狩野永徳 源氏物語図屏風 Co

夏休み特別企画 夏目漱石と美術
7. 21~ 8. 27 B2 _____ Co

第三文明展	9. 2~ 9. 25	B2	中村勝人「絲綢之路(シルクロード)タクラマカンの	Co
画家が求めた日本の美、近代日本風景画の展開	10. 1~10. 29 11. 2~11. 26	B2	秋峽 東山魁夷 1955	Co
ウェールズ国立美術館展 20世紀のウェールズ美術	'89. 12. 2~ '90. 1. 25	B2	オーガスタス・ジョン「アルダーニ屋敷の庭園のドレリア・マック」	Co
第17回全国小中高絵画展	'89. 12. 2~ '90. 1. 25	B2 B3	「金魚すくい」山口聡 小1 みぞぐち造形教室	Co Co
マリローランサン展	3. 2~ 3. 25	B2	二人の若い女友だち1942年	Co
【ペイネ美術館】				
館案内(開館時間・入館料・略図)		B2	_____	Co
フランス・ペイネ美術館 開館記念展	4. 25~10. 10	B3	_____	Co
【町田市立博物館】				
中国のガラス -18世紀~20世紀	10. 3~11. 12	B2	黄地赤被せ果実文瓶(18世紀)	Co
【松任市立博物館】				
春季特別展 祝野玄山	4. 16~ 5. 14	B2	_____	Co
松本白樺とその墨蹟	6. 18~ 7. 16	A1	夔 自然の牽く所	Co
開館一周年記念特別展 石と折り	8. 3~ 9. 17	B2	_____	Co
【松本市はかり資料館】				
今昔はかり展(6月7日 計量記念日)	6. 6~ 6. 8	B2	写真(はかり)	Co
8月4日 オープン 館案内		B2	_____	Co
【松山市立子規記念博物館】				
第20回特別企画展 俳句とHAIKU(市制100周年)	10. 3~11. 3	B2	_____	Co
【丸子町郷土博物館】				
特別展 白鳥映雪展	5. 18~ 6. 19	B3	序曲 昭和58年	Co
【箕輪町郷土博物館】				
丸山遺跡出土遺物展	2. 15~ 3. 31	A2	_____	Co
【向日市文化資料館】				
乙訓の古墳文化	10. 4~11. 12	B2	_____	Co

【明治大学附属博物館（刑事博物館・考古学博物館）】

発見と考古学（第6回博物館公開講座）

10. 23, 11. 4, 11. 11, 11. 13, 11. 25 B3 _____ Co

【焼津市歴史民俗資料館】

第5回特別展 そろばんからコンピューターまで

7. 22~ 8. 22 B1 _____ Co

【山口県立美術館】

河上左京と水彩画展

'90. 1. 5~ 2. 11 B2 _____ Co

【山種美術館】

第10回山種美術館賞展 今日の日本画

4. 1~ 5. 7 B2 大賞 平松礼二「路-「この道」を
唱いながら Co

現代の障屏画 5. 13~ 6. 25 B2 川端龍子「ハツ橋」(部分) Co

山崎種二のコレクション 絵画・古筆・彫刻・工芸展

7. 1~ 8. 13 B2 奥村土牛「鳴門」 Co

徳岡神泉-その人と芸術- 前 8. 19~ 9. 10 B2 「蕪」(1958) Co
後 9. 12~ 10. 1

昭和の名作 10. 7~ 11. 26 B2 福田平八郎「彩秋」 Co

四季の美 12. 2~ 12. 24 B2 小野竹喬「冬樹」 Co

新春の日本画 1. 4~ 1. 28 B2 片岡球子「めでたき富士（農鳥の見
える日）」 Co

浮世絵の名品 2. 3~ 2. 25 B2 鈴木春信「梅の枝折り」 Co

美人画の変遷 3. 3~ 4. 1 B2 初公開 池田輝方「夕立」(部分) Co

【山梨県立考古博物館】

一粒の穂~弥生農耕の風景~ 10. 17~ 11. 20 B2 _____ Co

【山梨県立美術館】

吾妻兼治郎展 5. 20~ 6. 18 B2 <MU-750>1975年ブロンズ
(PHOTOGRAPH BY OSAMU MURA) Co

日本のジュエリーデザイン展 6. 22~ 7. 2 B2 Co

自然を謳う 山田中吾展 7. 8~ 8. 6 B2 尼蓮禪河 1971
(彫刻の森美術館蔵) Co

宋藤（そうじょう） 8. 12~ 9. 24 B2 双泉 68.5 × 57.0cm Co

ザッキン展 10. 7~ 11. 23 B2 ゴッホ記念像 1956年ブロンズ Co

【碓氷美術館】

柳 敬助展 10. 3~ 11. 5 B2 婦人像Ⅱ（滞米時代）1904~1909 Co

【早稲田大学坪内博士記念演劇博物館】

復元・能装束展 10. 2~ 10. 28 B3 菊唐草入り檜垣に牡丹枝文様唐織 Co

秋の演劇講座 10. 25~ 12. 6 B3 _____ Co

(2) 資料整理活動

平成元年度は収蔵資料整理の第6年次にあたり、市立博物館引継資料のうち新収資料を含めて2,187点について整理を実施した。整理方法はアクリーニング イ実測 ウ写真撮影 エカード記入・写真貼付 オラベリング ヲ梱包の順序で行い、受入番号と分類番号、収蔵場所その他必要事項を記入している。

平成元年度資料整理点数 総点数 2,187点

(内訳)

総記	540点	絵葉書	540点
考古	14点	新収資料	1点
		出川遺跡他	13点
歴史	7点	市川家文書	7点
民俗	1,095点	新収資料	25点
		農耕用具他	1,071点
自然	530点	新収資料	15点
		鳥類剥製他	515点

この6か年の資料整理の点数は59年度806点、60年度649点、61年度2,384点、62年度4,143点、63年度9,265点、元年度2,187点で総合計点数は19,434点である。

区 分	点 数
総 記	3,954
考 古	8,703
歴 史	122
民 俗	5,534
自 然	530
美 術	591
合 計	19,434

(3) 調査研究活動

ア. 特別展 資料所在調査

期 日	調 査 地	担 当 者
1. 4. 28~	山口県立美術館	窪田学芸員
6. 20~21	吹田市入江児童文化史研究所	宮島補佐
6. 20	穂高町郷土資料館	窪田学芸員他1名
7. 27	岡谷考古博物館・下諏訪町立博物館	宮川学芸員
7. 27	中野市教育委員会・長野県信濃美術館	窪田学芸員

イ. 民俗部門

期 日	調 査 地 ・ 調 査 内 容	担 当 者
1. 11. 13	生坂村・四賀村 絵馬写真撮影	小 口 順 託
11. 14	三郷村・白馬村 絵馬写真撮影	窪 田 学 芸 員
2. 1. 15	市 内 三九郎聞きとり及び写真撮影	窪田学芸員他2名

ウ. 執筆活動

平成元年度に当館職員が館内外の刊行物に執筆した論文、報告等は下記のとおりである。
 なお、当館刊行物の名称については松本市立博物館ニュース-館ニュース、資料調査図録・
 郷土の絵馬-郷土の絵馬、研究紀要-紀要とそれぞれ略記した。

窪田 雅之	1989. 10	「長野県における博物館の現状をめぐって-民俗系博物館を中心に」『長野県民俗の会会報』12
	1989. 11	「博物館プレヒストリー-松本を事例として(1)」『館ニュース』51・52
	1990. 2	「多賀神社保管の木像道祖神について」(分担)『館ニュース』54
	1990. 2	『郷土の絵馬』(分担)
	1990. 3	「島立永田の道祖神まつり」(分担)『館ニュース』55
	1990. 3	『研究紀要』1 (分担)
宮川 雅行	1989. 9	「特別展 香月泰男<シベリア・シリーズ>展から」『館ニュース』50
	1990. 3	『研究紀要』1 (分担)
藤田 敬	1989. 7	「長野県の化石物語」『館ニュース』47
	1990. 3	「松本盆地および周辺山地のカクニナ類」『研究紀要』1 (分担)
小口 妙子	1989. 7	「“土喰って虫喰ってシブ-イ?!”-聞きなしの勤め-」『ナチュラリスト』47
	1989. 9	「特別展<子どもたちの世界-遊びと道具の今昔->から」『館ニュース』49
	1989. 10	「夏の夜はオモチャ箱-夜の自然観察-」『ナチュラリスト』50
	1990. 1	「街中のバード・ウォッチング-カモを見に街中へ行く-」『館ニュース』53

1990. 3 「街中の古巣—都市鳥調査研究報告その1—」『研究紀要』
1 (分担)
- 滝沢 新 1990. 2 「多賀神社保管の木像道祖神について」(分担) 『館ニュー
ス』54
1990. 3 「島立永田の道祖神まつり」(分担) 『館ニュース』55

(4) 教育普及活動

ア. 常設展示



●展示場案内図●

- 「先史時代の松本」(考古・地階展示室)
- 「古代・中世の松本」(歴史・地階展示室)
- 「近世の松本(松本城コーナー)」(歴史・1階展示室)
- 「近代の松本」(歴史・1階展示室)
- 「人びとの暮らし」(民俗・1階展示室)
- 「信州の自然」(自然・2階展示室)
- 「近代の美術」(美術・2階展示室)
- 「古時計の世界」(古時計・2階展示室)

平成元年度の常設展示は上記の6部門8コーナーの展示活動を行った。

なお、新たに展示した資料は下記のとおりである。

展示室	資料名(点数)	所蔵者	事由	備考
自然(2館)	マンモスゾウ臼歯化石	日本民俗資料館	新収資料	上顎左第3大臼歯 上顎右第2大臼歯
民俗(1階)	お庚申さま祭壇一式	日本民俗資料館	新収資料	東町三丁目

4. 企画展示

平成元年度は地下展示室の一部を企画展示コーナーとして、特別展開催も含めて年7回、延べ日数215日間開催した。

(ア) 昭和63年度新収資料展

- a. 会 期：平成元年4月26日（水）～5月28日（日）
- b. 内 容：昭和63年度に新しく収蔵した寄贈、購入、製作、採集資料239点のうち寄託自然資料・中信地方の第三紀貝化石10点をはじめとして、自然、民俗、歴史資料の中から41点を紹介を兼ねて展示・解説をした。

(イ) 信州の自然資料展

- a. 会 期：平成元年6月10日（土）～7月23日（日）
- b. 内 容：信州および周辺の自然資料を、収蔵資料を中心に鉱物・化石58点、剥製標本16点、高山植物写真6点の3種に分け展示・解説した。



▲信州の自然資料展

(ウ) 郷土の七夕様

- a. 会 期：平成元年8月5日（土）～8月27日（日）
- b. 内 容：昭和30年（1955）に重要有形民俗文化財に指定された七夕人形コレクション45点を人がた形式、流しびな形式、紙びな形式、着物掛け形式の4つに分類し、松本地方の七夕を中心に展示・解説した。

(エ) 収蔵日本画展-鷺湖・鼎湖・柏亭-

- a. 会 期：平成元年11月3日（金）～11月29日（水）
- b. 内 容：戦時中松本市浅間温泉に疎開し、晩年を同地で過ごした石井柏亭とその祖父鈴木鷺湖、父石井鼎湖の当館収蔵作品の中から、鷺湖5点、鼎湖2点、柏亭3点の計



▲鈴木鷺湖「鐘爐の図」

10点を展示・解説した。

付) 明治三十七、八年戦役記念館展

a. 会 期：平成元年12月3

日(日)～12月

24日(日)

b. 内 容：松本市立博物館

80年の歩みを振

り返り、当館の

前身である明治

39年(1906)9

月21日、松本尋

常高等学校男子

子部(旧開智学



▲明治三十七、八年戦役記念館展

校)内に開館した明治三十七、八年戦役記念館関係資料を中心に展示・解説した。

当時、小学校付属の陳列館は県下に10館余りあったが、名称等の変遷はあったものの現在まで博物館として活動を続けているのは当館だけである。

付) 信州ゆかりの画家たち—館収蔵作品から

a. 会 期：平成2年1月13日(土)～2月25日(日)

b. 内 容：新春に因み、館収蔵作品から信州にゆかりのある画家たちの作品28点について展示・解説した。おもな展覧作品として、松本が生んだ日本画の鬼才・西郷孤月の「蓬莱山」・「躑躅」・「湖辺」、晩年を松本で過ごした石井柏亭の「魚見崎風景」・「海」・「伊豆長津呂」をはじめ、堀江正章「吉野山秋色」、川上冬崖「墨梅画讃」などを展示した。

付) 装—よそおい

a. 会 期：平成2年3月4日(日)～3月25日(日)

b. 内 容：人びとの暮らしの中で生まれ育ったハレ(晴)とケ(曇—フダシ)の習慣を、最も良く表現している着物とそれに彩りを添える小物、化粧道具など120点を用い表現した。江戸時代以降、身分により厳しい統制を受けながらも、生活に応じた機能美・意匠の美しさ追及した「ハレ着」を展示・解説した。



▲西郷孤月筆「湖辺」

ウ. 特別展示

(ア) 第29回伝統工芸新作展

a. 会 期：平成元年4月29

日(土)～5月

7日(日)

b. 内 容：日本工芸会東京

支部に所属する

北海道・東北・

関東甲信越に在

住する工芸作家

の公募展で松本

(当館)での開

催は本年で8回

目である。日本

の優れた伝統工

芸の保存と育成

を期し、工芸の

美に対する一般

の理解と関心を

高めるために開

催した。展示作

品は陶芸・染織・

漆芸・金工・木

竹・その他の分野から約260点を展示した。

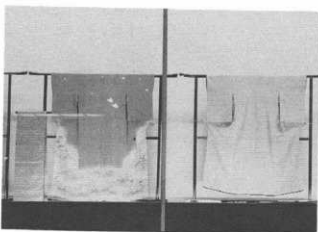
c. 入館料：有料 58,048名 無料 638名

合計 58,686名

(イ) 子どもたちの世界-遊びと玩具の今昔-展

a. 会 期：平成元年9月2日(土)～9月24日(日)

b. 内 容：長野県博物館協議会加盟館の巡回展で、地域に根ざした博物館活動を目標に、当館が幹事館となり事前調査から資料収集まで行った。遊びや玩具のもつ意義やその変遷を中心に、各館収蔵の関連資料約150点を展示解説した。また、この特別展をより理解していただくために、江戸時代から今日までの日本の玩具類約1,000点を展示・解説するためおもちゃの今昔-子どもたちの世界-



▲装-よそおい



▲第29回伝統工芸新作展

コーナーを開設した。

- c. 講演会：＊演題／子どもの遊びと年中行事について

＊講師／倉石忠彦氏（國學院大学文学部助教授）

＊日時／平成元年9月9日（土）
午後1時30分から

＊場所／当館2階講堂

- d. 体験学習教室：

＊内容／おもちゃ作り（竹と紙を使って）

＊講師／永田 実氏（松本市菅野児童センター館長）
小松和子氏（前松本市児童厚生委員）

＊日時／平成元年9月17日（日）
午後1時30分から

＊場所／当館2階テラス

- e. 関連印刷物：＊リーフレット 10,000部

- f. 入館者：有料 77,745名 無料 2,344名

合計 80,089名



▲子どもたちの世界遊びと玩具の今昔展
ポスター



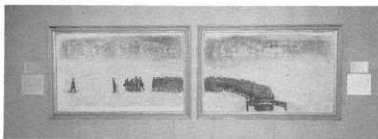
▲子どもたちの世界—遊びと玩具の今昔—展



▲体験学習教室

(ウ) 香月泰男〈シベリア・シリーズ〉展

- a. 会 期：平成元年9月30日（土）～10月29日（日）
- b. 内 容：朝日新聞および山口県立美術館が主管する全国巡回展で、戦後の美術史上特異な位置を占める、慟哭と鎮魂の画家香月泰男の作品の中から「シベリア・シリーズ」にスポットをあて、山口県立美術館収蔵作品を中心に131点を展覧した。また、会期中ビデオ「私の地球－香月泰男の世界－」「シベリアの豆の木」の上映を行った。
- c. 入館者：有料 118,859名 無料 3,104名
合計 121,963名



▲香月泰男〈シベリア・シリーズ〉展

エ 博物館実習生の受入れと指導

(ア) 期 間：平成元年8月17日（木）～8月28日（月）(10日間)

(イ) 内 容：当館と附属機関の重要文化財旧開智学校、考古博物館の3施設で、博物館法施行規則第1条第2項により大学で博物館学講座等を受講する学生6名を受入れ、実務実習を行った。

受入大学、実習担当者、担当項目は下記のとおりである。

〈平成元年度 博物館実習受入大学等〉

所 属 大 学	学 年	性 別	出 身 地
跡見学園女子大学美術史学科	4 年	女	松 本 市
和洋女子大学国文学科	4 年	女	木曾郡木曾福島町
信州大学人文学部	3 年	男	群馬県中之条町
同 上	4 年	男	東 京 都
同 上	4 年	女	愛知県赤羽根町
同 上	4 年	女	福 島 県

〈平成元年度 博物館実習担当者・担当項目〉

担 当 者	担 当 項 目
館 長 荒 井 寛	○ 博物館実習にあたって ○ 館概要
重文旧 関智所長 小 島 由 本	○ 重要文化財旧関智学校について
考古博物 館 長 神 澤 昌 二 郎	○ 考古資料の取扱いについて
館長補佐 宮 島 吉 秀	○ 公立博物館の活動について (庶務・学芸全般)
学芸員 窪 田 雅 之	○ 博物館活動と機能について ○ 資料整理の理論と実践
学芸員 宮 川 雅 行	○ 情報処理について
学芸員 田 川 恵 美 子	○ 教育 (史) 資料の取扱いについて
学芸員 関 沢 聡	○ 考古資料の取扱いについて
嘱 託 藤 田 敬	○ 自然史資料の取扱いについて
嘱 託 小 口 妙 子	○ 民俗資料の取扱いについて
臨時職員 小 澤 寛 夫	○ 歴史資料の取扱いについて
全 員	○ インフォメーション、ミュージアムショップ担当 ○ ケースのガラスみがき

オ. 刊 行 物

調査報告図録「郷土の絵馬」改訂増補版、講演会記録集「子どもの遊びと年中行事」をはじめ、館ニュース「あなたと博物館」(月刊)、「年報」のほか、今年度から新たに「研究紀
〈平成元年度刊行物一覧〉

名 称	内 容	刊行年月日	配布先	判・ページ	部 数	定 価
館ニュース あなたと博物館	行事案内、誌上博物館、 資料紹介など	毎 月	一 般	B4判2つ折 4・8ページ	1回につき 2,500部	無 料
<子どもたちの世界-遊び と玩具の今昔-展> リーフレット	展示資料解説	1. 9. 2	一 般	B5判 6ページ	10,000部	無 料
講演会記録集 子どもの遊びと年中行事	倉石忠彦氏による講演 内容の記録	2. 3. 20	関係機関	B5判 28ページ	400部	無 料
資料№.8 郷土の絵馬	昭和61年度に開催した 特別展「郷土の絵馬展」 の図録をもとに今回新 たに調査結果を追加し、 不備を補った。	2. 2. 15 改訂増補版	一 般	B5判 76ページ	1,000部	1,000円
研究紀要 第1集 1990	学芸担当職員の調査研 究活動記録集	2. 3. 20	関係機関	B5判 54ページ	400部	800円

『松本市立博物館ニュース』

<45号>

『速報展'89』から……

明治十三年六月明治天皇御巡幸松本御通因

神 沢 昌二郎

窪 田 雅 之

<46号>

松本小学校 優勝旗永久に授与さる

徳川吉宗領知朱印状

博物館をおもしろい施設とするために

小 澤 昭一郎

窪 田 雅 之

宮 川 雅 行

<47号>

『長野県の化石物語』

藤 田 敬

<48号>

松本平の古墳文化

読書入門掛図

関 沢 聡

田 川 恵美子

<49号>

特別展<子どもたちの世界-遊びと玩具の今昔->から

小 口 妙 子

<50号>

特別展 香月泰男<シベリア・シリーズ>展から

宮 川 雅 行

<51・52号>

博物館プレヒストリー-松本を事例として(1)

窪 田 雅 之

<53号>

街中のバード・ウォッチング-カモを見に街中へいこう-

小 口 妙 子

<54号>

多賀神社保管の木像道祖神について

窪田雅之・滝沢 新

<55号>

島立永田の道祖神まつり

窪田雅之・滝沢 新

カ. 職員の研修・派遣

(ア) 研修等

1. 5. 25~26 長野県博物館協議会役員会・総会 (軽井沢)
荒井館長 窪田学芸員
6. 27~28 北信越博物館協議会研究協議会 (新潟県中魚沼郡津南町)
宮川学芸員
8. 3 公益法人会計実務担当者特別研修会 (長野市) 宮島補佐 上条主事
11. 9~11 第37回全国博物館大会 (名古屋市) 荒井館長

11. 19~12. 2 アメリカ、カナダ博物館事情視察研修 宮川学芸員
2. 2. 15~16 長野県博物館等関係職員研修会（長野市） 窪田学芸員 宮川学芸員
2. 20 県内先進博物館視察研修（飯田市 諏訪市） 征矢野主任他4名
2. 27 同 上 （飯田市 諏訪市） 宮川学芸員他3名
3. 16 同 上 （茅野市 諏訪市） 宮島補佐他4名
- イ) 派遣等
1. 5. 23 鷹匠町公民館学級「地域の歴史を学ぶ」講師 窪田学芸員
8. 7 市教委主催「自然とのふれあい事業-自然キャンプIN奈川」指導者 小口囃託
- 緑みどり会第5回「みんなで考えよう松本の七夕まつり」講師 窪田学芸員
9. 21 中央公民館：聴力障害者と学ぶ成人学校「松本の昔ばなし」講師 窪田学芸員
10. 1 中央公民館：「歴史探訪」講師 窪田学芸員
2. 1. 6 笹賀地区歴史文化教室「三九郎、道祖神まつりってなに？」講師 窪田学芸員
2. 1 信州大学医学部第2解剖学教室松原岩隆遺跡出土資料整理指導者 藤田囃託
2. 15 同 上 藤田囃託
2. 13 信州大学人文学部博物館学講座講師 宮川学芸員
2. 14 同 上 窪田学芸員
2. 22 四ツ谷東公民館学級「町の歴史-四ツ谷東地区を中心に」講師 窪田学芸員
2. 23 島立公民館冬季成人講座「身近な道祖神あれこれ」講師 窪田学芸員
- 朝日村公民館古文書入門講座講師（5回） 小沢臨戦
- 山形村公民館古文書入門講座講師（8回） 小沢臨戦
- 青少年ホームまちおこし若者連講座講師（5回） 窪田学芸員
- 松本市史編集委員会（2回） 窪田学芸員

キ. 資料特別利用状況

下記のとおり27件の資料特別利用があった。

No	利用者	利用資料	摘要
1	テレビ東京	松本城コーナー撮影	VTR
2	長野県史刊行会	押絵巻（写真）等・検地仕法御請証文（写真）	掲載
3	福島県立博物館	松本城下町絵図16点	貸出・掲載
4	兵庫県民生部	七夕人形6点（写真）	貸出・掲載
5	長野放送株式会社	薬草旬	撮影・放映

No	利用 者	利 用 資 料	摘 要
6	学 習 研 究 社	明治時代のはかり(写真)	貸出・掲載
7	郷 土 出 版 社	孔雀文罍(重文・写真)	撮影・掲載
8	凸 版 印 刷	館内展示室スナップ	撮影・掲載
9	テ レ ビ マ シ ュ ニ オ ン	館内全般	撮影・掲載
10	紀 行 社	「正徳元年の親子札」、「鷹匠伝書」(写真)	掲載
11	新 潮 社	石井柏亭筆「外套を被たる婦人」	撮影・掲載
12	ネ リ ン コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	古時計(写真)	貸出・掲載
13	中 央 公 論 社 開 発 室	緑釉の皿、緑釉の段皿(写真)	掲載
14	森 山 美 術 館	荻原守衛筆「ニューヨーク近郊」	貸出・掲載
15	鹿 児 島 県 歴 史 資 料 セ ン タ ー 黎 明 館	講演会「子どもの遊びと年中行事」録音テープ	音声ダビング
16	長 野 市 立 博 物 館	明和度御裁許御建文写	貸出
17	フ ィ ル ム ア ー ト 社	古時計12点	貸出・掲載
18	日 本 放 送 出 版 協 会	水野氏時代の城下町絵図(写真)	貸出・掲載
19	中 央 公 論 社	緑釉の碗、段皿、皿(写真)	掲載
20	山 口 県 立 美 術 館	石井柏亭筆「かり入れあと」	貸出・掲載
21	長 野 県 史 刊 行 会	板碑(新村出土・写真)	計測・拓本
22	長 野 県 信 濃 美 術 館	石井鼎湖筆「鴨」	貸出
23	日 本 美 術 院	西郷孤月筆「湖辺」	貸出・掲載
24	至 文 堂	重要有形民俗文化財指定割り撮等9点	写真貸出・掲載
25	日 展	石井柏亭筆「松本城」(写真)	掲載
26	学 習 研 究 社	手まわしミシン(写真)	掲載
27	福 武 書 店	「検地仕法御清證文」(寄託資料・写真)	貸出・掲載

ク. 調査回答状況

下記のとおり23件の調査依頼について回答した。

No	調 査 依 頼 元	調 査 内 容
1	ア ー ト プ レ ス セ ン タ ー	1989年度特別展予定について
2	長 野 県 教 育 委 員 会 文 化 課	博物館における消費税影響状況について
3	芸 術 新 聞 社	施設の内容について
4	長 野 県 教 育 委 員 会 文 化 課	学校及び社会教育施設における視聴覚教育設備等の状況について
5	飯 田 市 役 所	寄贈又は委託資料の取扱いに関する定款の内容について
6	日 本 博 物 館 協 会	昭和63年度博物館園活動実施状況について

№	調査依頼元	調査内容
7	EUROPA PUBLICATION LIMITED	THE WORLD LEARNING 1990 の調査について
8	バ ー ン ズ	〈暮らしの美と出会う〉がテーマの博物館紹介のコラム記事について
9	長 野 県 総 務 部	民間非営利団体実態調査について
10	秋 田 市 美 術 館	作品の収蔵状況について
11	む げ ん 出 版	木工品の収蔵状況について
12	栃木県葛生町 むらおこし事業実行委員会	'89 くずう原人まつりに関して
13	山 種 美 術 館	ポスターの利用状況について
14	長 野 県 教 育 セ ン タ ー	長野県生涯学習施設バンクの登録について
15	アイヌ無形文化伝承保存会	アイヌ文化視聴覚資料の所在調査について
16	丸 善 株 式 会 社	「博物館にいきたくなる本」についてのアンケート
17	大 阪 青 山 短 期 大 学	館の所蔵品目録の有無について
18	鐘 築 博 容 社	時代館と郷土人形の収蔵状況について
19	図 書 館 情 報 大 学	わが国における情報活動の現状及び情報専門家の役割と育成について
20	朝日新聞社 年鑑・事典編集室	民俗資料館の活動内容について
21	図 書 館 情 報 大 学	情報活動調査について
22	大 野 町 文 化 財 保 存 会	からくり人形師「大野弁吉」の関連資料の収蔵状況について
23	通 商 産 業 省	余暇関連産業実態調査について

(注) 電話、個人扱い等は除く。

他に随時回答のもの

日本博物館協会	行事月間報告
長野県博物館協議会	月間催時予定
工 芸 学 会	月間スケジュール

2. 入館状況

区分 月	有 料						無 料	合 計	累 計
	個 人			団 体					
	大 人	小 人	計	大 人	小 人	計			
4 月	37,273	4,930	42,203	7,704	1,169	8,873	137	51,213	51,213
5 月	71,011	8,520	79,531	17,030	6,969	23,999	567	104,097	155,310
6 月	39,820	1,613	41,433	27,734	17,425	45,159	991	87,583	242,893
7 月	62,431	8,171	70,602	28,109	7,710	35,819	390	106,811	349,704
8 月	139,666	41,203	180,869	19,598	5,059	24,657	422	205,948	555,652
9 月	66,883	3,236	70,119	22,649	2,131	24,780	2,457	97,356	653,008
10 月	76,249	3,674	79,923	37,466	4,252	41,718	3,048	124,689	777,697
11 月	51,215	3,696	54,911	24,507	652	25,159	302	80,372	858,069
12 月	12,387	692	13,079	8,399	80	8,479	19	21,577	879,646
1 月	11,502	1,286	12,788	1,972	10	1,982	376	15,146	894,792
2 月	15,581	1,229	16,810	1,695	4	1,699	225	18,734	913,526
3 月	32,220	4,773	36,993	6,574	693	7,267	271	44,531	958,057
合 計	616,238	83,023	699,261	203,437	46,154	249,591	9,205	958,057	

3. 決算の概況

(1) 収 入

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	決 算 額
直轄事業収入		191,945,560
雑 収 入		6,631,164
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	35,897,045
合 計		234,473,769

(2) 支 出

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	決 算 額
日本民俗資料館 管 理 費		140,195,673
日本民俗資料館 事 業 費		24,599,151
固定資産取得支出	構築物建設支出	2,776,880
	什器備品購入支出	5,169,055
	資料購入支出	12,765,099
積立預金支出	展示整備基金出 積立預金支出	20,010,000
予 備 費	予 備 費	0
次期繰越収支差額	次期繰越収支差額	28,957,911
合 計		234,473,769

4. 職 員

職 名	氏 名	備 考
館 長	荒 井 寛	63. 4. 1 ~ 2. 3. 31
館 長 補 佐	宮 島 吉 秀	62. 11. 1 ~
主 任	征 矢 野 茂 門	60. 4. 1 ~
主 事	上 条 正 子	62. 4. 1 ~
学 芸 員	窪 田 雅 之	56. 4. 1 ~
学 芸 員	宮 川 雅 行	57. 4. 1 ~ 2. 3. 31
事 務 員	堀 内 り か	1. 4. 1 ~
嘱 託	藤 田 敬	62. 4. 1 ~
嘱 託	小 口 妙 子	63. 4. 1 ~
嘱 託	平 林 正 子	63. 4. 1 ~
嘱 託	小 塚 厚 子	63. 7. 11 ~
臨 時	小 澤 寛 夫	63. 4. 1 ~
臨 時	山 田 理 恵 子	1. 4. 1 ~
臨 時	滝 沢 新	1. 4. 1 ~
臨 時	真 鍋 弘 美	1. 4. 1 ~
臨 時	飯 野 ま ゐ	2. 3. 16 ~

5. 日誌抄

1. 4. 1 松本市人事異動発令により荒井館長参事に、神澤補佐課長に昇格。
4. 3 地階スロープ奥収蔵庫、地階収蔵庫くん蒸。
4. 10 大田区議会議員、館の管理運営視察のため来館。
4. 12 宮島補佐、宮川学芸員、第1回特別展〈第29回伝統工芸新作展〉準備会出席のため東京都へ出張。
4. 18 松野・山梨県市町村教育委員会事務局長、館内視察のため来館。
4. 24 荒井館長、宮島補佐、窪田学芸員「NBSスペシャル'89」取材放映のため諏訪市へ出張。
館内くん蒸。
4. 26 第1回企画展〈昭和63年度新収資料展〉開催（～5.28）。
4. 28 窪田学芸員、第3回特別展打合せのため山口市へ出張（～4.30）。
4. 29 第1回特別展〈第29回伝統工芸新作展〉開催（～5.7）。
5. 3 渋谷・須弥山儀保存研究会理事他1名、和時計調査のため来館。
5. 13 地下水中ポンプ取替工事開始。
6. 3 和時計学会会員15名、本田コレクション調査研究のため来館。
6. 6 荒井館長、窪田学芸員、平成2年度特別展準備のため愛媛県宇和町、大津市へ出張（～6.9）。
6. 10 時の記念日。本田久恵氏他本田コレクション関係者来館。
第2回企画展〈信州の自然資料展〉開催（～7.23）。
6. 19 三木・前辰馬考古資料館理事長、考古資料調査のため来館。
6. 20 長野県博物館協議会巡回展合同委員会、本館にて開催
第2回特別展準備のため宮島補佐、吹田市へ（～6.21）、窪田学芸員、宮川学芸員、大町市へそれぞれ出張。
7. 1 地下ポンプ配線工事。
管理員室換気扇取付工事。
千田・礪山美術館学芸員、資料貸出の協議のため来館。
7. 3 銚子市教育委員会、視察のため来館。
7. 11 インフォメーションミュージアム・ショップ改修工事開始。
藤枝市郷土博物館長以下15名、館内視察のため来館。
7. 13 城本・札幌市芸術の森建設担当主査、視察のため来館。
7. 15 荒川・東京国立博物館工芸課長、田幸・長野県史刊行会常任編集委員、漆工芸品の調査のため来館。

7. 17 光長・熊本市立博物館事務局長、山本・同主事、資料借用のため来館。
7. 23 荒井館長、市政 100 周年記念特別展「子ども科学展」開会式出席及び視察のため熊本市へ出張（～7. 25）。
7. 27 第 2 回特別展資料借用のため窪田学芸員、長野市、中野市へ、宮川学芸員、岡谷市、下諏訪町へそれぞれ出張。
8. 2 荒井館長、窪田学芸員、購入予定資料調査のため京都市へ出張（～8. 3）。
8. 5 第 3 回企画展「郷土の七夕様」開催（～8. 27）。
8. 6 増田・姫路市史編纂室員、今井・同執筆者、七夕人形及び七夕行事調査のため来館。
8. 17 博物館実習開始、実習生 6 名受入れ指導（～8. 28）。
8. 21 地下電気室の一部ブレーカー工事。
8. 26 下関市議会議員、視察のため来館。
8. 29 宮島補佐、第 2 回特別展資料借用のため吹田市へ出張。
8. 30 茨城町中央公民館委員、視察のため来館。
9. 2 第 2 回特別展「子どもたちの世界-遊びと玩具の今昔-」開催。「子どもたちの世界～おもちゃの今昔・入江正彦コレクション」同時開催（～9. 24）。
9. 6 佐治・福島県立博物館学芸員、資料返却のため来館。
9. 9 「子どもたちの世界」講演会開催。
9. 13 荒井館長、国立民俗学博物館特別展示館完成披露式並びに特別展披露式典出席のため吹田市へ出張（～9. 14）。
9. 15 藤村、青田・宮城教育大学附属中学校教諭、同校 3 年生総合学習事前調査のため来館。
9. 16 岡本・知立市歴史民俗博物館学芸員、資料調査のため来館。
9. 27 長野市立博物館へ資料貸出し。
窪田学芸員、資料返却のため吹田市へ出張（～9. 28）。
9. 28 千田・礫山美術館学芸員、資料借用のため来館。
平野・朝日新聞社西部本社企画部員、高田・山口県立美術館普及課主任、第 3 回特別展準備のため来館。
9. 30 第 3 回特別展「香月泰男＜シベリア・シリーズ＞」展開催（～10. 29）。
10. 8 塚本・牧方市教育委員会教育委員長、京極・同参加他 3 名、行政視察のため来館。
10. 21 窪田学芸員、NBS との共同制作番組「NBS スペシャル'89「時を刻む工匠の腕、日本民俗資料館の古時計ものがたり」同行取材のためスイス、フランス、イギリスへ出張（～11. 1）。

10. 29 古時計学会NAWCC108、本田コレクション調査のため来館。
高田・山口県立美術館学芸員、平野・朝日新聞社員、特別展終了挨拶のため来館。
11. 3 第4回企画展<収蔵日本画展-鷺湖・鼎湖・柏亭->開催(～11.19)。
11. 9 荒井館長、全国博物館大会へ出席のため名古屋市へ出張。
- 11.10 千田・嶽山美術館学芸員、資料返却のため来館。
- 11.17 高林・水沢市教育委員会職員、松本押絵鑑調査のため来館。
- 11.19 宮川学芸員、日本博物館協会主催海外博物館事情視察研修のためアメリカ、カナダへ出張(～12.2)。
- 11.20 木下藤昭氏、西郷孤月筆「蓬萊山」(絹本着色)を松本市に寄付、保管展示を博物館にしたいとの申し入れのため、収入役と来館。受理する。
- 11.21 藤牧、菊地・宮城教育大学附属中学校教諭、総合学習実施までの取組みにつき協議のため来館。
峯野・塩山市教育委員会教育委員長他7名、視察のため来館。
- 11.24 宮島補佐、購入予定資料調査のため東京都へ出張。
- 11.27 北事務所階段改修工事開始。
- 11.28 宮島補佐、窪田学芸員、西郷孤月の作品鑑定依頼のため東京都へ出張。
12. 3 第5回企画展<明治三十七、八年戦役記念館展-博物館80年の歩みを振り返って->開催(～12.24)。
- 12.18 宮島補佐、平成2年度特別展準備、資料整理電算化導入準備のため吹田市へ出張。
- 12.20 戸谷・八十二文化財団専務理事、平成2年度特別展打合せのため来館。
- 12.23 斎藤・山口県立美術館学芸員、資料借用のため来館。
2. 1.88 西郷孤月作品「蓬萊山」の贈呈式開催。
1. 12 丸山・長野放送部長、平成2年度特別展打合せのため来館。
- 1.13 第6回企画展<信州ゆかりの画家たち-館収蔵作品から>開催(～2.25)。
- 1.17 宮島補佐、窪田学芸員、平成2年度特別展準備のため長野市へ出張。
- 1.18 窪田学芸員、平成2年度長野県博物館協議会合同巡回展準備会出席のため長野市へ出張。
宮川学芸員、平成2年度特別展準備のため東京都へ出張。
- 1.23 渡辺・朝日新聞社企画部長、西郷孤月筆「湖辺」借用のため来館。
- 1.27 天野・文化庁主任文化財調査官、収蔵資料調査のため来館。
- 1.31 美術品等購入審査会開催。西郷孤月筆「池汀白鷺」、石井柏亭筆「浅間よりアルプス望見」の2点を審査、購入決定。
2. 2 中村・八十二文化財団主任調査役、平成2年度特別展打ち合わせのため来館。

2. 8 西山・飯田市美術博物館学芸員、資料返却のため来館。
2. 21 茅ヶ崎市市議会議員4名、行政視察のため来館。
和田・信濃美術館学芸員、資料借用のため来館。
2. 23 宮川学芸員、第2回特別展借用資料返却のため下諏訪町、岡谷市へ出張。
3. 5 第7回企画展〈装-よそおい-〉開催（～3.25）。
3. 8 宮川学芸員、第2回特別展借用資料返却のため豊科町、穂高町へ出張。
3. 13 窪田学芸員、先進博物館展示構成視察のため東京都、川崎市へ出張。
3. 27 宮島補佐、藤田囀託、購入資料予備調査のため東京都へ出張。

VI. 利用案内

■開館時間 午前8時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

■観覧料 国宝松本城との共通料金

	個人	団体(30人以上)
大人・高校生	500円	400円
小・中学生	250円	200円

■交通案内 徒歩 JR松本駅から20分

バス JR松本駅前バスターミナルから

美ヶ原温泉行「市役所前」下車徒歩1分

乗用車・バスの乗り入れには市営駐車場（有料）あり



◎お問い合わせは… 電話 0263 (32) 0133 へどうぞ

年 報 平成 2 年度

編集・発行 日本民俗資料館・松本市立博物館

〒390 松本市丸の内4番1号

TEL (0263) 32-0133

FAX (0263) 32-8974

発行日 1990年3月20日

印刷 尚アプリントショップ・ミネ

